

令和4年度
教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価に関する報告書



令和5年9月
加須市教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	点検及び評価の基本方針	
	(1) 目的	1
	(2) 対象事業	1
	(3) 対象期間	2
	(4) 実施方法	2
3	令和4年度教育委員会関連事業一覧	3
4	各事業の点検評価	
	(1) 基本目標の達成度評価	8
	(2) 基本目標の取組状況	10
	(3) 各事業の達成度評価	14
5	令和3年度評価を踏まえた取組状況	45
6	学識経験者の意見	67
	(1) 新井信男氏	67
	(2) 荻原孝之氏	75
7	おわりに	83

1 はじめに

加須市教育委員会では、平成27年12月に制定した「加須市人づくり宣言～教育大綱～」に掲げる三つの市民の姿の実現を目指し、これからの時代にふさわしい本市の教育を総合的かつ計画的に推進するため策定した「第2次加須市人づくりプラン」に基づき、「家族・地域の絆を大切に、生きる力を醸成する」を基本理念として、7つの基本目標、26の施策を位置づけ、加須市の教育行政を総合的かつ計画的に推進していきます。

各事業の推進にあたっては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、毎年度、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しております。

※この点検及び評価は、事業ごとに作成した事業管理シートを基本とした、PDCAサイクル（計画・実行・評価・見直しのサイクル）による本市独自の行政評価システム「加須やぐるまマネジメントシステム」により実施します。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当っては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の基本方針

(1) 目的

加須市教育委員会が住民への説明責任を果たし、効果的な教育行政を推進するため、自己点検評価を行います。

(2) 対象事業

加須市人づくりプランに位置付けられている教育委員会に関連する全ての事業(93事業)を対象とします。

子育て支援課	1事業	スポーツ振興課	19事業
こども保育課	3事業	図書館課	5事業
教育総務課	10事業	学校教育課	31事業
生涯学習課	19事業	学校給食課	2事業
文化・学習センター	3事業		
		合計	93事業

(3) 対象期間

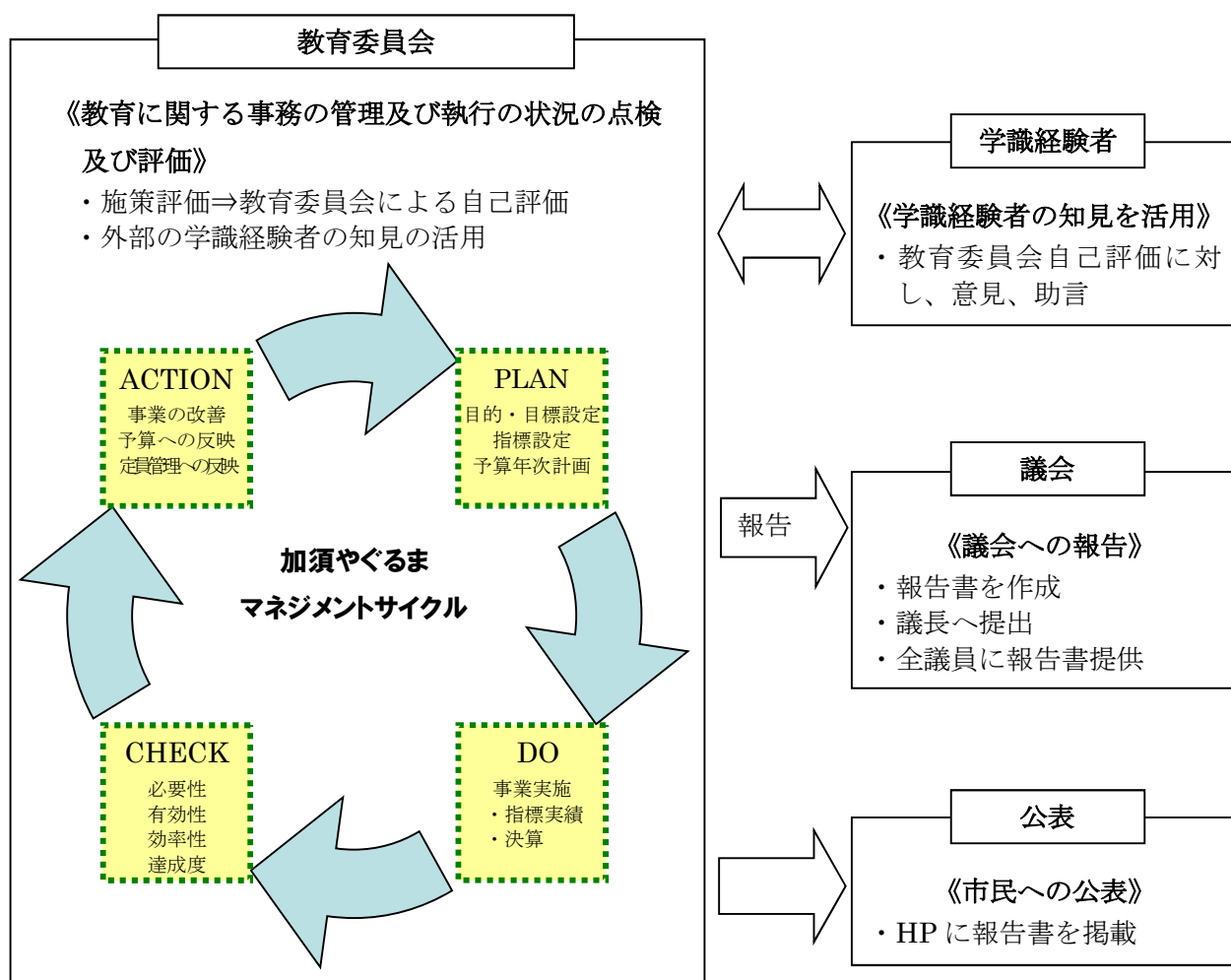
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(4) 実施方法

加須市総合振興計画後期基本計画の事業管理シートを活用し、各事業の実績に基づき、達成度について自己評価を行うとともに、その評価を踏まえ、方向性を検討しました。

また、令和3年度の点検・評価に対し、学識経験者からの意見・助言をいただいた事業の取組状況を検証し、これらを取りまとめました。

なお、令和4年度の点検・評価に当たりましても、外部の学識経験者の意見や助言をいただき、今後の事業推進に活用してまいります。



3 令和4年度教育委員会関連事業一覧

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
01自ら学ぶ力と確かな学力を育成します						
01幼児教育の推進						
	0101-02	2131-16		幼稚園預かり保育事業		こども局こども保育課
	0101-03	2215-03		保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
02一人ひとりを伸ばす教育の推進						
	0102-01	2211-05		少人数学級推進事業		学校教育部学校教育課
	0102-02	2211-11		学力アップ事業		学校教育部学校教育課
	0102-03	2211-12		小学校英語教育推進事業	主	学校教育部学校教育課
	0102-04	2211-13		中学校英語教育推進事業	主	学校教育部学校教育課
	0102-05	2211-20		サイエンススクール事業	主	学校教育部学校教育課
	0102-06	2211-30		小学校教材用備品整備事業		生涯学習部教育総務課
	0102-07	2211-31		中学校教材用備品整備事業		生涯学習部教育総務課
	0102-08	2211-32		生徒派遣援助事業		生涯学習部教育総務課
	0101-09	2215-03		保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
	0102-10	2314-04		ブックトーク・おはなし会開催事業	再掲	生涯学習部図書館課
	0102-11	2513-03		集会所管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
03教職員の資質能力の向上						
	0103-01	2211-08		学校訪問指導事業	主	学校教育部学校教育課
	0103-02	2211-07		学習指導改善研究事業	主	学校教育部学校教育課
	0103-03	2211-15		教師用教科書・指導書措置事業		学校教育部学校教育課
	0103-04	2211-16		社会科副読本資料作成事業		学校教育部学校教育課
	0103-05	2212-02		教育センター運営事業	再掲	学校教育部学校教育課
04ICTを活用した教育の推進						
	0104-01	2211-09		学校ICT教育活用事業	主	学校教育部学校教育課
05特別支援教育の推進						
	0105-01	2211-14		特別支援教育推進事業		学校教育部学校教育課
	0105-02	2211-25		小学校特別支援教育就学奨励事業		学校教育部学校教育課
	0105-03	2211-26		中学校特別支援教育就学奨励事業		学校教育部学校教育課
06学びを支える経済支援						
	0106-01	2211-21		小学校就学援助事業		学校教育部学校教育課
	0106-02	2211-23		中学校就学援助事業		学校教育部学校教育課
	0106-03	2211-27		河野博士育英事業		学校教育部学校教育課
	0106-04	2211-24		避難者支援就学援助事業		学校教育部学校教育課
07自立する力の育成						
	0107-04	2211-17		防災教育推進事業		学校教育部学校教育課
	0107-10	2211-22		学校グリーンカーテン事業		学校教育部学校教育課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0107-15	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	主	学校教育部学校教育課
		0107-16	2211-19	市職員マンパワー活用事業		学校教育部学校教育課
		0107-17	2211-12	小学校英語教育推進事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0107-18	2211-13	中学校英語教育推進事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0107-19	2211-20	サイエンススクール事業	再掲	学校教育部学校教育課
02豊かな心を育む取組を推進します						
01いじめ対策の充実						
		0201-01	2212-01	いじめ・不登校対策事業	主	学校教育部学校教育課
		0201-02	2212-02	教育センター運営事業	再掲	学校教育部学校教育課
02不登校対策を中心とした教育相談の推進						
		0202-01	2212-02	教育センター運営事業	主	学校教育部学校教育課
		0202-02	2212-01	いじめ・不登校対策事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0101-03	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
03学校等における人権教育の推進						
		0203-01	2513-03	集会所管理運営事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0203-02	2511-04	人権教育推進事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
		0203-03	2211-08	学校訪問指導事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0203-04	2211-07	学習指導改善研究事業	再掲	学校教育部学校教育課
03安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します						
01安全・安心な給食の提供						
		0301-01	2213-01	給食センター管理運営事業	主	学校教育部学校給食課
		0301-02	2213-06	給食費収納対策事業		学校教育部学校給食課
02食育の推進						
		0302-01	2211-07	学習指導改善研究事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0302-02	2213-01	給食センター管理運営事業	再掲	学校教育部学校給食課
03健康の保持増進						
		0303-01	2213-02	小学校健康推進事業		学校教育部学校教育課
		0303-02	2213-03	中学校健康推進事業		学校教育部学校教育課
04質の高い教育のための環境づくりを推進します						
01安全で安心な教育環境の整備						
		0401-01	2214-01	小学校管理運営事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-02	2214-02	中学校管理運営事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-03	2141-01	公立幼稚園管理運営事業		こども局こども保育課
		0401-06	2214-03	学校教育管理事業		学校教育部学校教育課
		0401-07	2214-04	小学校施設整備事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-08	2214-05	中学校施設整備事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-09	2142-01	公立幼稚園施設整備事業	主	こども局こども保育課
02学校ICT環境の適正な管理						

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0402-01	2211-09	学校ICT教育活用事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0402-02	2214-04	小学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0402-03	2214-05	中学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
03市立学校の適正な配置						
		0402-01	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0402-02	2214-04	小学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0402-03	2214-05	中学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0403-04	2142-01	公立幼稚園施設整備事業	再掲	子ども局こども保育課
05家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します						
01学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進						
		0501-01	2215-01	学校いきいきステーション事業	主	学校教育部学校教育課
		0501-02	2215-02	地域密着型教育広報事業		学校教育部学校教育課
		0501-03	2215-06	あいさつふれあい推進事業		学校教育部学校教育課
		0501-04	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	主	学校教育部学校教育課
		0501-06	2215-05	家庭の学びと地域の絆推進事業		生涯学習部生涯学習課
		0501-07	2312-05	まちかど美術館推進事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0501-08	2215-16	かぞ子ども大学事業		子ども局子育て支援課
		0501-09	2215-08	通学路安全対策事業		学校教育部学校教育課
		0501-21	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0501-22	2511-04	人権教育推進事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
		0501-23	2513-03	集会所管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
02子どもの健やかな成長の支援						
03青少年の健全育成の推進						
		0503-01	2215-17	二十歳の集い開催事業		生涯学習部生涯学習課
		0503-02	2215-07	青少年健全育成事業		生涯学習部生涯学習課
06生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります						
01生涯学習活動の推進						
		0601-02	2311-02	生涯学習推進計画進行管理事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-03	2311-06	生涯学習管理事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-04	2311-03	生涯学習きっかけづくり支援事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-05	2311-04	市民学習カレッジ事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-06	2311-05	シニアいきいき大学事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-07	2311-09	文化・学習センター管理運営事業		生涯学習部文化・学習センター
		0601-08	2311-13	加須未来館管理運営事業		生涯学習部文化・学習センター
		0601-12	2311-12	余裕教室等活用事業		生涯学習部生涯学習課
02芸術文化の振興						
		0602-01	2312-03	文化・学習センター芸術文化振興事業		生涯学習部文化・学習センター
		0602-02	2312-01	地域文化振興事業		生涯学習部生涯学習課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0602-03	2312-02	地区文化祭振興事業		生涯学習部生涯学習課
		0602-04	2312-04	偉人顕彰事業		生涯学習部生涯学習課
		0602-05	2312-05	まちかど美術館推進事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
		0602-06	2313-03	伝統文化継承支援事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
03文化財の保存継承による郷土愛の醸成						
		0603-01	2313-04	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業		生涯学習部生涯学習課
		0603-02	2313-02	加須インターネット博物館管理運営事業		生涯学習部生涯学習課
		0603-03	2313-03	伝統文化継承支援事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0603-04	2313-01	文化財の保存と活用による地域活性化事業		生涯学習部生涯学習課
04読書活動の推進						
		0604-03	2314-03	絵本との親子ふれあい事業		生涯学習部図書館課
		0604-04	2314-04	ブックトーク・おはなし会開催事業	主	生涯学習部図書館課
		0604-05	2314-05	図書資料整備充実事業		生涯学習部図書館課
		0604-06	2314-06	図書館管理運営事業		生涯学習部図書館課
		0604-07	2314-07	図書館まつり開催事業		生涯学習部図書館課
05人権教育の推進						
		0605-04	2511-04	人権教育推進事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0605-07	2513-03	集会所管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
07スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります						
01スポーツ参画人口の拡大						
		0701-02	2411-02	スポーツ・レクリエーション推進計画進行管理事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-03	2411-03	スポーツ普及推進事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-04	2411-04	市民体育祭支援事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-05	2411-05	スポーツ教室等開催事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-06	2411-06	グラウンドゴルフ推進事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-07	2411-07	健康スポーツ推進事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-08	2211-07	学習指導改善研究事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0701-13	2411-13	スポーツ支援人材育成・活用事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-14	2215-01	学校いきいきステーション事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0701-15	2411-15	総合型地域スポーツクラブ育成事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-16	2411-16	スポーツ施設整備事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-17	2411-17	スポーツ施設管理運営事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-18	2411-18	学校体育施設開放管理運営事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-19	2411-19	民間・県施設活用事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-21	2411-21	スポーツ施設安全点検事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-22	2214-01	小学校管理運営事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0701-23	2214-02	中学校管理運営事業	再掲	生涯学習部教育総務課
02スポーツを核とした交流人口の拡大						

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0702-01	2412-01	女子硬式野球振興事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0702-02	2412-02	クライミング普及事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0702-03	2412-03	自転車普及推進事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0702-05	2412-04	こいのぼりマラソン大会開催事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0702-06	2412-05	加須ふじの里駅伝大会支援事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0702-07	2412-06	全国大会等支援事業		生涯学習部スポーツ振興課
体系外						
		—	2211-28	教育委員会運営事業		生涯学習部教育総務課
		—	2211-29	教育委員会事務局管理事業		生涯学習部教育総務課
		—	2211-02	加須市人づくりプラン進行管理事業		生涯学習部教育総務課

4 各事業の点検評価

(1) 基本目標の達成度評価

総合振興計画における評価基準を準用し、各基本目標の達成度評価を行いました。

全93事業110指標のうち、「目標を達成」が29指標(26.4%)、「概ね達成」が33指標(30.0%)と、62指標については事業実施による効果を得ることができました。一方で、「やや遅れている」が28指標(25.4%)、「大幅に遅れている」が20指標(18.2%)ありました。これらの48指標については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものを含め、現状の課題の分析を踏まえ、更なる取組が必要です。

【達成度評価の状況】

目標	達成度評価	区分	目標を達成	概ね達成	やや遅れている	大幅に遅れている	合計
基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します	概ね達成できた	指標数	10	15	4	1	30
		割合	33.3%	50.0%	13.3%	3.3%	—
基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します	達成できなかった	指標数	0	1	2	1	4
		割合	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	—
基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します	目標どおり達成できた	指標数	1	3	0	0	4
		割合	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	—
基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します	概ね達成できた	指標数	3	3	0	1	7
		割合	42.9%	42.9%	0.0%	14.3%	—
基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します	達成できなかった	指標数	2	3	3	5	13
		割合	15.4%	23.1%	23.1%	38.5%	—
基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります	達成できなかった	指標数	5	4	12	8	29
		割合	17.2%	13.8%	41.4%	27.6%	—
基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります	やや達成できなかった	指標数	7	4	5	4	20
		割合	35.0%	20.0%	25.0%	20.0%	—
その他の教育事業	達成できなかった	指標数	1	0	2	0	3
		割合	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	—
合計		指標数	29	33	28	20	110
		割合	26.4%	30.0%	25.4%	18.2%	—

※再掲を除く。

【基本目標の達成度評価基準】

評価	達成度評価基準
計画どおり達成できた	基本目標を構成する全ての事業（取組）において達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」であった。
概ね達成できた	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が80%以上であった。
やや達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が80%未満であった。
達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が50%未満であった。

【事業（取組）の達成度評価基準】

評価	達成度評価基準
目標を達成	当該年度に実施すべき取組みを予定通り、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。 「効果が表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成した。
概ね達成	当該年度に実施すべき取組みを円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。 「効果が概ね表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の80%以上に達したものをいう。
やや遅れている	当該年度に実施すべき取組みを行ったものの、事業実施による効果が小さかった。 「効果が小さかった」とは、成果指標の実績値が目標値の80%未満となったものをいう。
大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。 「効果が表れなかった」とは、成果指標の実績値が目標値の50%未満となったものをいう。

(2) 基本目標の取組状況

それぞれの基本目標における具体的な取組状況は、以下のとおりです。

基本目標1：自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

小中学校では、1人1台の学習系端末を文房具のように扱える児童生徒の育成を目指して、家庭用の充電アダプターを配付し、児童生徒の端末の持ち帰りを可能にするなど積極的な活用に努めました。また、令和3年度にICT活用推進校として指定した4つの小・中学校に加え、新たに4つの小・中学校に研究指定を行いました。さらに、実践研究に基づく成果や課題を共有するためのオンラインミニ講座「加須学びDX」を開催し、1人1台端末の効果的な活用を市内各校に広めました。

思考力・判断力・表現力の育成を目指した「加須市チャレンジシート」の全小・中学校への教材の提供、「加須まなびTime」の実施による学びの機会の提供を行うほか、各校の学力向上に係る代表者で組織する加須市教育課程検討委員会を定期的に開催し、加須市の現状を踏まえた学力向上の取組に係る協議を行いました。また、埼玉県学力・学習状況調査がCBT化されることを見据え、「加須市チャレンジテスト」をCBTで実施しました。チャレンジテストの結果については、分析シートを用いて自校の課題を明確にし、課題解決に向けて取り組みました。

人的な支援としては、教育活動補助員の配置による少人数指導やチームティーチングでの授業展開、学力向上を図るための非常勤講師によるきめ細かな学習指導を行いました。また、小学校への外国語活動指導助手（AFT）及び中学校への外国語指導助手（ALT）の配置により英語教育の充実を図りました。さらに、障がい児介助員を適切に配置し、支援を必要とする児童生徒一人一人にきめ細かな支援を行いました。

そのほかにも、「加須市防災ノート」を活用した防災学習の充実など、子どもたちの自ら学ぶ力を育むための多様な学びを実現する資料や環境整備を行いました。

市立幼稚園では、引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、個に応じた環境づくりを工夫することにより、幼児の主体的な遊びを十分に確保し、小学校以降の学習の基盤を培うことに努めました。また、保育の延長が必要な幼児に対して、預かり保育を実施し、子育て支援を行いました。幼児たちが家庭的な雰囲気の中で積極的に友達と関わり、安定した気持ちで園生活を楽しめるような場を提供しました。

基本目標2：豊かな心を育む取組を推進します

各小・中学校において、いじめや不登校の未然防止のため、校内での指導・支援体制を充実させるとともに、家庭への啓発及び地域と連携を深めるために、加須市立教育センターを核とした教育相談活動等を展開しました。教育センターには、相談員やスクールカウンセラーを配置するとともに、不登校児童生徒の生活改善を図り、学校復帰を目指すための「学習室ピア」を運営し、一人一人のニーズに応えるための環境づくりを行いました。また、教育センターから引きこもりがちな不登校生徒へオンラ

インによる学習支援を試行し、令和5年度の本格実施に向けて課題等の検証を行いました。

人権教育の充実のために、「学校人権教育計画訪問」の実施による教職員の人権感覚の向上、「加須市初任者研修人権研修」及び「加須市立教育センター人権研修（オンライン）」による若手の教職員への研修の充実、「学校人権教育指導資料49集の発刊」による授業実践の共有化を行いました。これを、各教員が日常の教育活動に活かし、子どもたちの豊かな心の育成につなげました。

基本目標3：安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

学校給食については、地場産野菜を積極的に活用しながら、子どもたちに栄養バランスに配慮した安全安心な給食を提供しました。なお、事故等による給食停止は発生せず、すべての学校給食提供日に給食の提供ができました。

また、電力・ガス・食料品等価格の物価高騰の影響を大きく受けている子育て世帯に対し、市立小・中学校に通う児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、学校給食費を5箇月間、一時的に免除しました。

さらに、コロナ禍等における物価高騰により、学校給食の食材価格への影響が出ている中、保護者の経済的負担を増やすことなく、引き続き、質や量を確保した学校給食が提供できるよう賄材料費の高騰分を支援しました。

給食費については、滞納している家庭に、早期納付を働きかけた結果、現年度分の収納率は99.99%となりました。

学校給食センターの老朽化や運営状況、児童生徒数の推移等を考慮し、令和5年度2学期から北川辺学校給食センターを廃止し、加須学校給食センターと騎西学校給食センターの2センター体制とします。

児童生徒の健やかな体の育成のため、栄養教諭による学校訪問授業を行い、食育についての理解を深めました。

学校保健安全法に基づく児童生徒の健康診断（内科・歯科健診、尿検査、心電図検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査）等について、コロナ禍における留意事項を徹底したうえで、計画的に実施しました。また、教職員については、健康診断、胃がん・大腸がん検診の実施を行ったことに加え、ストレスチェックの実施により、心身の健康状態についての管理を行いました。

基本目標4：質の高い教育のための環境づくりを推進します

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、小・中学校トイレ手洗いの自動水栓化改修工事を実施しました。

不動岡小学校については、加須市学校施設長寿命化計画に基づき、校舎の安全で快適な教育環境を確保するため、外壁の劣化対策、非構造部材の耐震化、教室やトイレの全面改修及びバリアフリー改修など大規模な改修工事を実施しました。

学校ICT環境の適正な管理として、児童生徒1人1台端末の有効活用に向け、ベネッセのICT支援員を配置し、全小・中学校に定期的に訪問する中で、授業をはじめとする教育活動への積極的な利用を推進しました。なお、ICT活用推進校（8校）

による研究等から見えてきた課題等を集約し、今後の改善に向けた検討を継続しています。

市立幼稚園では、コロナ禍においても、幼児が主体的に活動し、多様な体験ができるよう、幼児の興味・関心を生かした遊びの環境づくりに努めました。また、保護者や地域に教育方針や幼稚園教育への理解を深めていただくために、チラシやHPを利用して、園や幼児の様子を発信しました。さらに、幼稚園業務補助員を配置し、園業務の補助及び特別な配慮を必要とする幼児への支援を行うなど、幼児一人一人の発達の特性に応じた対応をしました。

基本目標5：家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

家族・地域の絆づくりの一層の推進のための「あいさつ運動」に、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で、各校（園）が取り組みました。また、加須市民まつりにおいて、青少年市民会議の皆様にご協力をいただき、あいさつ運動のキャンペーンを行いました。

「家庭の教育力」の向上を図るため、家庭教育学級・子育て学級なども、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で開催し、家庭教育を推進しました。

全幼稚園及び全小・中学校に、「ふれあい推進長（学校応援コーディネーター）」を委嘱し、ボランティアからなる「幼稚園応援団・学校応援団」を組織し、コロナ禍における留意事項を踏まえたうえで、可能な限り地域との連携を図り、令和4年度は、合計で3,410名の応援団の方に協力をいただきました。

保・幼・小中一貫での活動の充実を図り、子どもたちに豊かな人間性や社会性を育むための教育を推進しました。コロナ禍の影響もあり、集合型での実施ができない場面があったため、規模や対象を制限するなど、オンラインを活用する中で、各園・校が工夫を凝らして実施できる活動を行いました。

基本目標6：生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

加須市生涯学習市民企画委員や生涯学習推進員と連携し、生涯学習セミナーや市民学習カレッジの企画・募集を行い、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により人数制限等を設けた上で、企画した75セミナーのうち67セミナーを実施しました。また、その学習成果を発表・展示する、かぞ生涯学習フェスティバル、地域文化祭・地区文化祭及び市民音楽祭を、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて開催し、芸術文化の交流活動の充実を図りました。さらに、平成国際大学と連携して開校する加須市シニアいきいき大学は、令和4年7月から開校し、社会学部現代社会コース（1年生）・自然科学部健康科学コース（2年生）とも全10回の講義を行うことで、シニア層の市民の学習活動の場を提供しました。

芸術文化イベントである「斎藤与里展」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて「つるし雛展」と同時開催し、市民が郷土の偉人への愛着や誇りを有することに取り組み、芸術・文化の向上を図りました。

文化・学習センターでは、各種コンサート等の自主公演事業等の貸館事業を実施するほか、市民実行委員会とのコラボによるミュージカルを開催するなど、自主公演事

業の公演数は、コロナ禍前の水準に近づきました。

図書館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、親子講座・ボランティア育成講座・図書館まつり・定例おはなし会を再開しました。また、ソーシャルディスタンスの徹底、図書除菌ボックス・非接触型体温計・空気清浄機の活用などの安全対策を講じ、来館者が安心して図書館を利用できるよう、環境づくりに努めました。そのような中、市民のニーズに応え、一般書や児童書の購入や郷土資料の受入を実施し、蔵書の充実を図りました。さらに、「第4次加須市子ども読書活動推進計画」を策定して、保育所・幼稚園・小中学校への支援の充実や子育て配信メールを活用した子育てに役立つ本の情報を提供するなど、子どもが本にふれあう機会を設け、子どもの読書活動の推進を図りました。

基本目標7：スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります

新型コロナウイルス感染症拡大防止を最優先にしつつも、加須こいのぼりマラソン大会、加須ふじの里駅伝大会や様々な全国規模の大会を開催しました。また、スポーツライミングをはじめとする各種スポーツ教室やグラウンド・ゴルフ大会、ウォーキング大会などを実施し、市民の健康の保持・増進や体力の維持向上に努めました。さらに、施設の安全管理を行いながら、利用者が安心・安全に利用できるスポーツ施設の提供を図りました。

(3) 各事業の達成度評価

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

施策1 幼児教育の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
			指標(単位)	預かり保育受入率 (%)							
1	こども保育課	1・ 目標を達成	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、必要に応じて預かり保育を実施し、子育て支援につなげる。 令和5年度は、定期利用希望者が一人でもいれば開設する。 	
	総振CD		2131-16	目標		100	100	100	100		
	プランCD		0101-02	実績	100	100	100				
	幼稚園預かり保育事業		・保護者の就労等により利用希望のあった9園で、希望者全員（延べ7,360人）の預かり保育を実施し、子育て支援を行ったため、「目標を達成」と評価した。								
	予算額		10,240千円								
	決算額		6,491千円								
	執行率		63%								

施策2 一人ひとりを伸ばす教育の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
			指標(単位)	教育活動補助員の配置状況 (%)							
2	学校教育課	2・ 概ね達成	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> 小学校第6学年、中学校第2学年及び第3学年に非常勤講師（教育活動補助員）を配置する 学級担任とのチームティーチングや少人数指導により、個に応じた学習指導や生活指導を実施し、学力向上を図る 児童生徒と関わる時間の増加による個別学習の推進、心の安定を図り、生徒指導を推進する 	
	総振CD		2211-05	目標		100	100	100	100		
	プランCD		0102-01	実績	100	100	92				
	少人数学級推進事業		・小学校第5学年～第6学年、中学校第2学年及び第3学年において、1学級内の人数が多い学級（小学校3～6年：36人以上、中学校2～3年：39人以上）に教育活動補助員を配置することができた。また、教育活動補助員を配置し、チームティーチングや少人数指導を行うことにより、個に応じた学習指導や生活指導の充実を図ることがほぼできたため、「概ね達成」と評価した。								
	予算額		21,529千円								
	決算額		15,198千円								
執行率	71%										
3	学校教育課	2・ 概ね達成	指標(単位)	埼玉県学力学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（児童） (%)						<ul style="list-style-type: none"> CBTによるチャレンジテスト等を実施し、児童の学力向上を図る。 各校において学力分析シートを作成し、自校の課題解決に向けた取組に努める。 	
	年度		2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
	目標			100	100	100	101	101			
	実績		-	98	97						
	・市の平均正答率が、県・全国を下回っている現状を踏まえ、各校へのチャレンジシートの配布やチャレンジテストの実施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の生徒に対してきめ細やかな学習指導を展開し、学力の向上に努め、平均正答率が目標値の97%となったため、「概ね達成」と評価した。										
	総振CD	2211-11	2・ 概ね達成	指標(単位)	埼玉県学力学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（生徒） (%)						<ul style="list-style-type: none"> CBTによるチャレンジテストや「加須まなびTime」等を実施し、生徒の学力向上を図る。 各校において学力分析シートを作成し、自校の課題解決に向けた取組に努める。 学びtimeを充実させることで、学習機会の確保に努める。
	年度	2年度		3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
	目標			100	100	100	101	101			
	実績	-		96	95						
	・市の平均正答率が、県・全国を下回っているが、各校へのチャレンジシートの配布やチャレンジテストの実施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の生徒に対してきめ細やかな学習指導を展開し、学力の向上に努め、平均正答率が目標値の95%となったため、「概ね達成」と評価した。										
予算額	8,331千円										
決算額	4,312千円										
執行率	52%										

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
4	学校教育課	2・概ね達成	指標(単位)	小学校外国語活動の目標をおおむね達成した5、6年生児童の割合(令和2年度:小学校外国語科の目標を十分達成した5、6年生の児童の割合) (%)							
	総振CD		2211-12	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0102-03	目標	/		50	60	60	60	60
	小学校英語教育推進事業		実績	44	45	59					
	・担任と外国語活動指導助手とのチームティーチングの充実により、外国語活動の目標をおおむね達成している児童の割合が、目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。						<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育研究員が小学校を学期に1度訪問し、担任や外国語活動指導助手への授業支援や指導を行う。 ・研修会をととして、指導力の向上や小・中学校の一層の連携を図る。 ・3、4年生の外国語活動の授業においては、担任と外国語活動指導助手とのTTを計画的に実施し、年間授業時数35時間を確保できるようにする。 ・5、6年生の外国語の授業においては、担任と外国語活動指導助手とのTTを計画的に実施し、年間授業時数70時間を確保できるようにする。 				
	指標(単位)		外国語活動が楽しいと感じている児童の割合(平成28年度~令和元年度は5、6年生、令和2年度以降は3、4年生) (%)								
	年度		2年度	3年度	4年度(決算)	5年度				6年度	7年度(目標年)
目標	/		100	100	100	100				100	
実績		92	91	98							
・担任と外国語活動指導助手とのチームティーチングの充実により、外国語活動の目標をおおむね達成している児童の割合や、外国語活動が楽しいと感じている児童の割合が、目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。											
予算額	19,613千円										
決算額	17,252千円										
執行率	88%										
5	学校教育課	2・概ね達成	指標(単位)	英語検定3級程度の英語力を有する中3生徒の割合 (%)							
	総振CD		2211-13	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0102-04	目標	/		50	50	50	50	
	中学校英語教育推進事業		実績	42	33	40					
	・英語教育研究員の訪問により、英語教員と外国語指導助手のチームティーチングによる授業が積極的に展開されたため、「概ね達成」と評価した。 ・外国語指導助手の研修会を通して、担当教員との連携が円滑になった。						<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育研究員が全ての市立中学校を学期に1度訪問し、英語教員と外国語指導助手の授業支援や指導を行って授業力の向上を図る。 ・授業力向上のために、外国語指導助手の研修会を月2回程度行う。 ・英語教員の授業力向上のための研修会、小学校と中学校の連携を図るための研修会の一層の充実を図る。 ・英語に興味関心が高い生徒をさらに伸ばすため、イングリッシュサマーキャンプを実施する。 				
予算額	26,449千円										
決算額	26,396千円										
執行率	100%										
6	学校教育課	3・やや遅れている	指標(単位)	未来館学習による理科に関する興味・関心をもった児童の割合 (%)							
	総振CD		2211-20	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0102-05	目標	/		95	95	95	95	
	サイエンススクール事業		実績	-	0	69					
	・3年ぶりにサイエンススクールを実施したが、事業実施後に行ったアンケート調査において、理科への興味・関心を持った児童の割合が、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。						<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達の段階を踏まえ、興味・関心が高まるよう、各学校の担当者や加須未来館の職員と連携を図り、学習内容や教材を工夫・改善する。 ・新学習指導要領におけるねらいや目標を踏まえて継続的にその実施の在り方について、検討を重ねる。 				
予算額	1,210千円										
決算額	1,000千円										
執行率	83%										

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
7	教育総務課	2・ 概ね達成	指標(単位)	小学校理科備品の整備率 (%)						<ul style="list-style-type: none"> 整備率は、理科実験備品を適切に整備するとともに適正な廃棄をすることで上昇させることができる。 学校間で整備率に差が生じていることから、今後も引き続き、整備率の低い学校に重点を置きながら、国庫補助金を活用して、加須市全体の理科備品の質の向上を図る。 	
	総振CD		2211-30	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度		7年度(目標年)
	プランCD		0102-06	目標		77.4	77.7	78.0	78.3		78.6
	小学校教材用備品整備事業		実績	76.9	76.6	75.8					
	予算額		2,467千円	<ul style="list-style-type: none"> 小学校各校が備品の使用の可否を精査して備品を整理、廃棄したことで購入額が廃棄額を下回り、令和3年度から下降した。整備率としては目標値を下回ったため、「概ね達成」と評価した。 整備率の低い騎西及び北川辺地域に重点を置きながら、各小学校に各校の要望どおり備品整備を行った。 国庫補助金を活用して理科備品の整備を行った。 							
	決算額		2,437千円								
	執行率		99%								
8	教育総務課	2・ 概ね達成	指標(単位)	中学校理科備品の整備率 (%)						<ul style="list-style-type: none"> 理科実験備品を適切に整備するとともに適正な廃棄に努め、整備率の向上を図る。 	
	総振CD		2211-31	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度		7年度(目標年)
	プランCD		0102-07	目標		83.9	84.2	84.5	84.8		85.1
	中学校教材用備品整備事業		実績	80.5	83.4	82.8					
	予算額		1,570千円	<ul style="list-style-type: none"> 中学校各校が備品の使用の可否を精査して備品を整理、廃棄したことで購入額が廃棄額を下回り、令和3年度から下降した。整備率は目標値を下回ったため、「概ね達成」と評価した。 整備率の低い騎西及び北川辺地域に重点を置きながら、各中学校に各校の要望どおり備品整備を行った。 国庫補助金を活用して理科備品の整備を行った。 							
	決算額		1,539千円								
	執行率		98%								
9	教育総務課	3・ やや遅れている	指標(単位)	生徒派遣費補助金の交付件数 (台)						<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ及び文化活動の振興を図り、交付件数の増加に努める。 今後も引き続き、市内中学校に制度の周知を行い、補助金の活用を促すとともに、大会参加に伴う自己負担が生じないよう適正な補助金の交付を行う。 	
	総振CD		2211-32	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度		7年度(目標年)
	プランCD		0102-08	目標		12	12	12	12		12
	生徒派遣援助事業		実績	0	9	8					
	予算額		1,089千円	<ul style="list-style-type: none"> 各学校に制度を周知し、関東大会、全国大会に出場した8件(29人)に対し、自己負担が生じないよう派遣費を補助したものの、交付件数は目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 							
	決算額		1,089千円								
	執行率		100%								

施策3 教職員の資質能力の向上

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
10	学校教育課	2・概ね達成	指標(単位) 埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合(児童生徒) (%)	<ul style="list-style-type: none"> CBTによるチャレンジテスト等を実施し、児童の学力向上を図る。 各校において学力分析シートを作成し、自校の課題解決に向けた取組に努める。 			
	総振CD 2211-08		年度 2年度 3年度 4年度(決算) 5年度 6年度 7年度(目標年)				
	プランCD 0103-01		目標 / 101 100 100 101 101				
	学校訪問指導事業		実績 - 97 96				
	<ul style="list-style-type: none"> 市の平均正答率が、県・全国を下回っているが、各校へのチャレンジシートの配布やチャレンジテストの実施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の生徒に対してきめ細やかな学習指導を展開し、学力の向上に努め、平均正答率が目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。 						
	指標(単位) 学校訪問回数 (回)		年度 2年度 3年度 4年度(決算) 5年度 6年度 7年度(目標年)		目標 / 215 200 200 200 200	<ul style="list-style-type: none"> 各幼稚園及び小・中学校の二一ズにに応じたきめ細かい指導につながるよう、訪問対象者や訪問方法の見直しや訪問回数を増やすことなどについて検討する。 指導内容については、教員の「授業改善」「学級経営」や幼児、児童生徒の「学習意欲の向上」に向けた指導を意図的に実施する。 	
	実績 164 125 193		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での市立幼稚園及び小・中学校の訪問では、感染症対策に十分留意しながら、計画どおりに実施でき、目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。 教職員への指導・助言を通して、学校の教育力向上につながった。 事業の推進を通して、児童生徒の学習習慣の確立が図られている。 				
	予算額 22千円						
	決算額 22千円						
	執行率 100%						
11	学校教育課	2・概ね達成	指標(単位) 埼玉県学力学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合(児童生徒) (%)	<ul style="list-style-type: none"> CBTによるチャレンジテスト等を実施し、児童の学力向上を図る。 各校において学力分析シートを作成し、自校の課題解決に向けた取組に努める。 			
	総振CD 2211-07		年度 2年度 3年度 4年度(決算) 5年度 6年度 7年度(目標年)				
	プランCD 0103-02		目標 / 100 100 100 101 101				
	学習指導改善研究事業		実績 - 97 96				
	<ul style="list-style-type: none"> 市の平均正答率が、県・全国を下回っているが、各校へのチャレンジシートの配布やチャレンジテストの実施、小規模校に対する人的支援など、一人一人の生徒に対してきめ細やかな学習指導を展開し、学力の向上に努め、目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。 						
	指標(単位) 体力テストの5段階絶対評価で上位3ランク(A+B+C)の児童生徒の割合 (%)		年度 2年度 3年度 4年度(決算) 5年度 6年度 7年度(目標年)		目標 / 82 82 82 82	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上推進委員会を開催し、体育授業の充実に努めるとともに、家庭との連携を図り、児童生徒が体を動かす機会を作ることを促す。 	
	実績 - 82 80		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により、運動機会が減少したことで、体力テストの結果は目標値には至らなかったものの、目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。 				
	予算額 6,455千円						
	決算額 5,339千円						
	執行率 83%						

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
12	学校教育課	1・ 目標を達成	指標(単位) 学級増、教員増の学校へ教師用教科書及び指導書を配布した割合 (%)	<ul style="list-style-type: none"> 学級の増設や教員の増員が必要となる教師用教科書及び指導書の措置を行う。 	
	総振CD 2211-15		年度 2年度 3年度 4年度(決算) 5年度 6年度 7年度(目標年)		
	プランCD 0103-03		目標		100 100 100 100 100
	教師用教科書・指導書措置事業		実績		100 100 100
	予算額 515千円		<ul style="list-style-type: none"> 学級の増設や教員の増員が必要となった教師用教科書及び指導書を措置し、目標を達成することができた。 		
	決算額 288千円				
	執行率 56%				
13	学校教育課	2・ 概ね達成	指標(単位) 加須市に対する理解が深まった児童の割合 (%)	<ul style="list-style-type: none"> 指導の手引き、評価テスト、ワークプリントを作成し、市立各小学校へ配布して、その活用を図る。 	
	総振CD 2211-16		年度 2年度 3年度 4年度(決算) 5年度 6年度 7年度(目標年)		
	プランCD 0103-04		目標		80 80 80 80 80
	社会科副読本資料作成事業		実績		73 68 69
	予算額 1,827千円		<ul style="list-style-type: none"> 児童の評価テストの点数を基に算出した、加須市に対する理解が深まった児童の割合が目標値に近づいているため、「概ね達成」と評価した。 社会科副読本編集委員会を組織し、学習指導要領に準拠した内容の社会科副読本を3,000部(令和5年度、令和6年度及び令和7年度の小学3年生全員分)を作成し、全市立小学校に配布した。 		
	決算額 1,815千円				
	執行率 99%				

施策4 ICTを活用した教育の推進

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
14	学校教育課	2・ 概ね達成	指標(単位) ICTを活用して効果的な指導ができる教員の割合 (%)	<ul style="list-style-type: none"> 研修会を実施し、教員のICT活用能力の向上を図る。 児童生徒数に応じた教育系コンピュータの配置などの工夫を図る。 	
	総振CD 2211-09		年度 2年度 3年度 4年度(決算) 5年度 6年度 7年度(目標年)		
	プランCD 0104-01		目標		95 95 100 100 100
	学校ICT教育活用事業		実績		84 81
			<ul style="list-style-type: none"> 各小・中学校において、一人一台端末を活用した授業が推進できたとともに、校務支援システムの活用により、校務の効率化につなげられたため、「概ね達成」と評価した。 		
	1・ 目標を達成	指標(単位) ICTを活用して情報活用能力を発揮できる児童生徒の割合 (上段：児童の数値 下段：生徒の数値) (%)	<ul style="list-style-type: none"> 各教科において、効果的にICTを活用する機会を意図的に設け、児童生徒の情報活用能力を育成する。 		
		年度 2年度 3年度 4年度(決算) 5年度 6年度 7年度(目標年)			
		目標		65 70 75 75 80 100 70 75 80 85 100	
		実績		- 97 96 94 99	
		<ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末を活用した授業が展開されていることや、学習用端末の日常的な持ち帰りで家庭学習でも学習用端末を利用することにより、児童生徒の情報活用能力が向上したため、「目標を達成」と評価した。 			
予算額 170,503千円					
決算額 151,518千円					
執行率 89%					

施策5 特別支援教育の推進

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
15	学校教育課	3・ やや遅 れている	指標(単位)	ことばの教室(構音障害)修了者の割合 (%)				<ul style="list-style-type: none"> 就学時健康診断において、市立各小学校にて、学校における特別支援教育について情報提供を行い特別支援教育に関する理解を深める。 言語聴覚士による支援を仰ぐ。 			
	総振CD		2211-14	年度	2年度	3年度	4年度(決算)		5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0105-01	目標	95		95		95	95	95
	特別支援教育推進事業		実績	62	53	57					
	予算額		<ul style="list-style-type: none"> 構音障害の令和4年度当初開始児童数が61名、正しく発音できるようになり修了した児童が35名であったため、「やや遅れている」と評価した。 4年度当初開始児童数 61名(構音障害) 1名(吃音) 5名(難聴) 								
	決算額		78,294千円								
執行率		66,692千円									
		85%									
16	学校教育課	1・ 目標を達成	指標(単位)	就学奨励費の支給率 (%)				<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級に在籍する児童の保護者に対して、制度の周知を徹底する。 制度の対象児童については、増加傾向である。 			
	総振CD		2211-25	年度	2年度	3年度	4年度(決算)		5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0105-02	目標	100		100		100	100	100
	小学校特別支援教育就学奨励事業		実績	100	100	100					
	予算額		<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、各学校の協力を得ながら制度の周知を行い、目標を達成することができた。 保護者及び学校から提出された資料に基づき、就学奨励費を計算し支給することで、学校生活に係る経費について保護者の経済的負担の軽減が図れたため、「目標を達成」と評価した。 令和4年度においては、学校給食費の減免等により執行率が低くなった。 								
	決算額		6,207千円								
執行率		3,152千円									
		51%									
17	学校教育課	1・ 目標を達成	指標(単位)	就学奨励費の支給率 (%)				<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対して、制度の周知を徹底する。 制度の対象生徒については、増加傾向である。 			
	総振CD		2211-26	年度	2年度	3年度	4年度(決算)		5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0105-03	目標	100		100		100	100	100
	中学校特別支援教育就学奨励事業		実績	100	100	100					
	予算額		<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対し、各学校の協力を得ながら制度の周知を行い、目標を達成することができた。 保護者及び学校から提出された資料に基づき、就学奨励費を計算し支給することで、学校生活に係る経費について保護者の経済的負担の軽減を図った。 令和4年度においては、学校給食費の減免等により執行率が低くなった。 								
	決算額		4,272千円								
執行率		2,044千円									
		48%									

施策6 学びを支える経済支援

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
18	学校教育課	1・ 目標を達成	指標(単位)	就学援助費の支給率 (%)				<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、制度の周知を徹底しながら、迅速で正確な事務処理を努めていく。 令和5年度より支給費目にオンライン学習通信費を追加する。 			
	総振CD		2211-21	年度	2年度	3年度	4年度(決算)		5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0106-01	目標	100		100		100	100	100
	小学校就学援助事業		実績	100	100	100					
	予算額		<ul style="list-style-type: none"> 全校児童の案内チラシの配布、当該年度の受給者への個別の案内通知等、制度の周知を図ることにより、援助を必要とする保護者への支援ができ、目標を達成することができた。 令和4年度においては、学校給食費の減免等により執行率が低くなった。 								
	決算額		44,624千円								
執行率		26,456千円									
		59%									

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等						
19	学校教育課	1・ 目標を達成	指標(単位) 就学援助費の支給率 (%)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、制度の周知を徹底しながら、迅速で正確な事務処理を努めていく。 令和5年度より支給費目にオンライン学習通信費を追加する。 						
	総振 CD 2211-23		年度		2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プラン CD 0106-02		目標			100	100	100	100	100
	中学校就学援助事業		実績		100	100	100			
	予算額 49,549千円		<ul style="list-style-type: none"> 全校生徒への案内チラシの配布、当該年度の受給者への個別の案内通知等、制度の周知を図ることにより、援助を必要とする保護者への支援ができ、目標を達成することができた。 令和4年度においては、学校給食費の減免等により執行率が低くなった。 							
	決算額 31,901千円									
	執行率 64%									
20	学校教育課	1・ 目標を達成	指標(単位) 新規に採用する奨学生の人数 (人)	<ul style="list-style-type: none"> 学力が優秀でありながら経済的理由で就学が困難な生徒に、適正に奨学金を給与する。 						
	総振 CD 2211-27		年度		2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プラン CD 0106-03		目標			10	15	15	15	15
	河野博士育英事業		実績		9	11	15			
	予算額 11,175千円		<ul style="list-style-type: none"> 上方修正した目標値に対して、選考委員会における協議の結果、奨学生を15名選考することができ、目標を達成することができた。 							
	決算額 10,766千円									
	執行率 96%									
21	学校教育課	1・ 目標を達成	指標(単位) 就学援助費の支給率 (%)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、学校と連携をとりながら、援助を必要とする家庭への支援を実施していく。 						
	総振 CD 2211-24		年度		2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プラン CD 0106-04		目標			100	100	100	100	100
	避難者支援就学援助事業		実績		100	100	100			
	予算額 348千円		<ul style="list-style-type: none"> 制度の周知を図ることにより、援助を必要とする保護者への支援ができ、目標を達成することができた。 対象者の減少により執行率が低くなった。 							
	決算額 147千円									
	執行率 42%									

施策7 自立する力の育成

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等						
22	学校教育課	1・ 目標を達成	指標(単位) 市内各幼稚園及び小・中学校における「加須市防災教育指導資料」の活用率 (%)	<ul style="list-style-type: none"> 各校において、加須市防災教育指導資料や防災ノートの活用が図られた。 今後は、加須市防災教育指導資料や防災ノートを活用した授業実践等を共有し、さらなる活用及び防災教育の充実を図りたい。 						
	総振 CD 2211-17		年度		2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プラン CD 0107-04		目標			100	100	100	100	100
	防災教育推進事業		実績		100	100	100			
	予算額 1,404千円		<ul style="list-style-type: none"> 全ての小中学校で「加須市防災教育指導資料」を活用することができているため、「目標を達成」と評価した。 							
	決算額 893千円									
	執行率 64%									

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
				指標(単位)								(%)
23	学校教育課		2 ・ 概ね達成	指標(単位)	環境に興味・関心をもっている児童生徒の割合 (%)						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各校(園)の実態に応じて、ゴーヤ、アサガオ、ヒヨウタン等の栽培によるグリーンカーテンの設置、学校ファームにおける活動を推進する。 	
	総振CD	2211-22		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0107-10		目標	/			95	95	95		95
	学校グリーンカーテン事業			実績	-	-	-					
	予算額			0千円	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの実施ができなかったが、市内幼稚園、小中学校併せて42校(園)の全てで、学校ファームでの栽培を実施できた。また、小中学校は21校、幼稚園は10園でグリーンカーテンに取り組むことができたため、「概ね達成」と評価した。 							
	決算額			0千円								
	執行率			-								
24	学校教育課		3 ・ やや遅れている	指標(単位)	ふれあい講演会を実施した中学校の割合 (%)						<ul style="list-style-type: none"> 生徒の職場体験や福祉体験のために必要な保菌検査の実施や損害保険への加入等の支援の実施。 市立中学校でのふれあい講演会の実施のための支援。 ふれあい講演会は、平成28年度以降、市費により同額の支援を行っている。講演会は、生徒一人一人の将来の夢や希望について考えることのできるよいキャリア形成の機会となっていることや、児童生徒の学力向上との関連から、今後も支援を継続する。 	
	総振CD	2211-18		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0107-15		目標	/			100	100	100		100
	中学生夢創造チャレンジ事業			実績	38	50	50					
	予算額			450千円	<ul style="list-style-type: none"> 「ふれあい講演会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施の可否の判断を含め、各学校の実情に合わせた実施をし、4校で行われたものの、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 							
	決算額			134千円								
	執行率			30%								
25	学校教育課		4 ・ 大幅に遅れている	指標(単位)	市職員の派遣を要請した回数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> 各学校に本事業の活動事例を周知し、より効果的な人材活用を図るとともに、他課と十分な連携を図る。 	
	総振CD	2211-19		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0107-16		目標	/			10	10	10		10
	市職員マンパワー活用事業			実績	2	3	3					
	予算額			0千円	<ul style="list-style-type: none"> 水害講話や、職業学習の講話など、学校のニーズに応じて対応したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講師派遣の機会が少なかったことにより、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。 							
	決算額			0千円								
	執行率			-								

基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します

施策1 いじめ対策の充実

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
26	学校教育課	3 ・ やや遅 れている	指標(単位)	不登校児童の割合(小学校) (%)						<ul style="list-style-type: none"> いじめの早期発見、早期対応のための窓口として、市ホームページ上に開設した「いじめ相談メールフォーム」の周知を図る。 いじめ撲滅の啓発及び教育相談窓口の周知のため、各校にいじめ防止のための啓発品を配布する。 小学校への巡回スクールカウンセラーの配置をする。 不登校問題対策委員会の実施及び指導主事学校訪問により学校との連携を図る。 オンラインによる「加須学びリンク『ピア』」を実施。 	
	総振CD		2212-01	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度		7年度(目標年)
	プランCD		0201-01	目標	/						
	いじめ・不登校対策事業		実績	0.43	0.53	0.78					
			・コロナ禍を経て、児童、保護者の学校を休むことへの意識が変化しており、不登校児童数は増加傾向にあるが、対応が遅れている状態であるため、「やや遅れている」と評価した。 ・スクールカウンセラー、巡回スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さわやか相談員による教育相談等の充実を図っている。								
			・コロナ禍を経て、生徒、保護者の学校を休むことへの意識が変化しており、不登校生徒数は増加傾向にあるが、対応が遅れている状態であるため、「やや遅れている」と評価した。 ・スクールカウンセラー、巡回スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さわやか相談員による教育相談等の充実を図っている。								
	予算額		18,780千円	指標(単位)	不登校生徒の割合(中学校) (%)						
	決算額		17,819千円	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度		7年度(目標年)
	執行率		95%	目標	/						
				実績	3.66	3.93	5.90				

施策2 不登校対策を中心とした教育相談の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
27	学校教育課	2 ・ 概ね達 成	指標(単位)	「参加してよかったと感じた研修会」をあげた教職員数の割合 (%)						<ul style="list-style-type: none"> 教職員研修の内容を見直す。さらに、不登校の解消を目指し、生徒指導・教育相談、特別支援教育に関する新たな研修会を実施する。また、オンラインを活用した研修の充実を図り、教職員の負担軽減を図る。 通級状況報告書を活用した在籍校に対する訪問教育相談を行い、学校と連携して、ピアに通級している児童生徒の学校復帰を目指す。 オンラインによる「加須学びリンク『ピア』」を実施。 	
	総振CD		2212-02	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度		7年度(目標年)
	プランCD		0202-01	目標	/						
	教育センター運営事業		実績	-	100	91					
			・研修会について、多くの参加者が「参加してよかった」と回答し、目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。 ・学習室ピアに通級している児童生徒の多くが、学校に通う回数や時間を増やすことができた。								
	予算額		17,876千円								
	決算額		15,638千円								
執行率	87%										

施策3 学校等における人権教育の推進

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
	指標(単位)	集会所年間利用者数 (人)										
28	生涯学習課		4 ・ 大幅 に 遅 れ て い る	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生学級や成人学級を開催し、集会所を積極的に活用していく。 ・来館者が安心して利用できるよう施設の修繕を行うなど管理運営をしていく。 	
	総振 CD	2513-03		目標	/							
	プラン CD	0203-01		実績	2,371	2,758	3,833					
	集会所管理運営事業			<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集会所の利用制限や講座の中止により、大幅な利用者増とはならず、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。 ・講座を開催することにより、交流を深めながら利用者の人権意識を高め、人権問題解決に寄与することができた。 								
	予算額	5,894千円										
	決算額	5,425千円										
執行率	92%											

基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

施策1 安全・安心な給食の提供

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
29	学校給食課	1・ 目標を達成	指標(単位)	学校給食提供日数(率) (%)							
	総振 CD		2213-01	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD		0301-01	目標	/						
	給食センター管理運営 事業		実績	100	100	100	100	100	100		
	予算額		734,802千円	・3センターとともに衛生管理を徹底した結果、事故等による給食停止は発生せず、目標どおり給食が提供できた。すべての学校給食提供日に給食の提供ができたことから、「目標達成」と評価した。 ・安全安心でおいしい給食を継続的に提供できた。							
	決算額		709,771千円								
執行率	97%										
30	学校給食課	2・ 概ね達成	指標(単位)	現年度収納率の向上 (%)							
	総振 CD		2213-07	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD		0301-02	目標	/						
	給食費収納対策事業		実績	99.93	99.98	99.99					
	予算額		0千円	・現年分については、未納が3箇月続いた場合、学校と連携し、未納状況を把握するとともに、児童手当からの納付など、早期着手を念頭に置き、収納対策を実施したことから、令和3年度の収納率を上回った。収納率は目標値を下回ったことから、「概ね達成」と評価した。 ・令和4年11月から令和5年3月までの5箇月に限り、学校給食費を一時的に免除した。							
	決算額		0千円								
執行率	—										

施策3 健康の保持増進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
31	学校教育課	2・ 概ね達成	指標(単位)	児童のう歯治療率 (%)							
	総振 CD		2213-02	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD		0303-01	目標	/						
	小学校健康推進事業		実績	87.8	86	86.6					
	予算額		28,964千円	・歯みがき指導等により、口腔衛生の必要性・重要性を理解させる健康教育を実施し、健診等で早期発見に努めたため、「概ね達成」と評価した。							
	決算額		26,804千円								
執行率	93%										
32	学校教育課	2・ 概ね達成	指標(単位)	生徒のう歯治療率 (%)							
	総振 CD		2213-03	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD		0303-02	目標	/						
	中学校健康推進事業		実績	95.7	93.1	91.9					
	予算額		14,571千円	・各学校で、生徒の健康維持・向上を目指し、歯科指導や学校保健委員会を定期的で開催したため、「概ね達成」と評価した。							
	決算額		13,072千円								
執行率	90%										

基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

施策1 安全で安心な教育環境の整備

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
33	教育総務課	2・ 概ね達成	指標(単位)	図書整備率100%達成校数 (校)						
	総振CD		2214-01	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0401-01	目標	/	22	22	22	22	22
	小学校管理運営事業		実績	22	21	20				
	予算額		・図書整備率は、昨年度からの三俣小学校に加えて、高柳小学校が学級数の増加に伴い分母の図書標準蔵書冊数が増えたことで100%を下回ることとなったものの、継続的な図書購入を行った結果、それ以外の20校は引き続き100%を達成し、学校図書館の整備充実を図ることができたため、「概ね達成」と評価した。なお、図書購入費は100%執行した。							
	決算額		・各学校と連携を図りながら、各学校に1名ずつ用務員を任用するとともに、保守点検や物品の購入などの必要諸経費を適切に支出することができた。							
執行率		85%								
34	教育総務課	2・ 概ね達成	指標(単位)	図書整備率100%達成校数 (校)						
	総振CD		2214-02	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0401-02	目標	/	8	8	8	8	8
	中学校管理運営事業		実績	7	7	7				
	予算額		・図書整備率は、令和3年度に加須平成中学校で図書を整理し、引き続き整備率が100%を下回っているものの、継続的な図書購入を行った結果、それ以外の7校は引き続き100%を達成し、学校図書館の整備充実を図ることができたため、「概ね達成」と評価した。なお、図書購入費は100%執行した。							
	決算額		・各学校と連携を図りながら、各学校に1名ずつ用務員を任用するとともに、保守点検や物品の購入などの必要諸経費を適切に支出することができた。							
執行率		89%								
35	こども保育課	1・ 目標を達成	指標(単位)	保護者・地域への幼稚園教育活動に対するチラシやHP等での周知数 (回)						
	総振CD		2141-01	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0401-03	目標	/	160	170	180	190	200
	公立幼稚園管理運営事業		実績	/	206	180				
	予算額		・各園の教育方針や幼稚園教育への理解を深めていただく手段として、チラシやHPを通して、保護者や地域に周知したため、目標を達成することができた。							
	決算額		・公立幼稚園(13園)の管理運営を適正に行った。							
執行率		87%								
36	学校教育課	2・ 概ね達成	・事業を円滑に進めるにあたり、必要経費を適切に支出する。 ・新型コロナウイルス感染症対策費として32,850千円を令和5年度に繰り越したため執行率が低くなった。							
	総振CD		2214-03	・特定教科専門指導非常勤講師と欠員対応非常勤講師の配置に必要な予算などの、適正な管理執行に努める。						
	プランCD		0401-06	・部活動あり方検討委員会を開催する。						
	学校教育管理事業									
	予算額		51,844千円							
決算額		12,742千円								
執行率		25%								

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
	指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析										
37	教育総務課		1・目標を達成	指標(単位)	小学校施設の大規模改造工事実施率 〔大規模改造工事実施済棟数/大規模改造工事が必要な棟数×100〕 ※築後30年以上の棟数及び改修が必要な棟数の合計 (%)						
	総振CD	2214-04		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD	0401-07		目標	/		51.2	50.0	54.3	57.4	57.4
	小学校施設整備事業			実績	51.2	51.2	50.0				
	予算額	995,869千円		・大規模改造工事の実施率については、分母の築後30年以上の棟数増に伴い、目標が前年を下回っている。加須市学校施設長寿命化計画に基づき不動岡小学校校舎大規模改造工事を計画通り進め、目標の実施率を達成することができたため、「目標を達成」と評価した。 ※教室増加工事、プール循環ポンプ交換工事等について、令和4年度に完了しないため、25,620千円を令和5年度へ繰り越した。							
	決算額	802,388千円									
	執行率	81%									
38	教育総務課		1・目標を達成	指標(単位)	中学校施設の大規模改造工事実施率 〔大規模改造工事実施済棟数/大規模改造工事が必要な棟数×100〕 ※築後30年以上の棟数及び改修が必要な棟数の合計 (%)						
	総振CD	2214-05		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD	0401-08		目標	/		58.8	52.6	52.6	47.6	54.5
	中学校施設整備事業			実績	58.8	58.8	52.6				
	予算額	127,206千円		・大規模改造工事の実施率については、分母の築後30年以上の棟数増に伴い、目標が前年を下回っている。令和4年度の実績はないものの、目標の実施率を達成することができたため、「目標を達成」と評価した。 ・加須西中学校昇降機改修工事など必要な整備を行った。 ※教室増加に伴う備品購入について、令和4年度に完了しないため、2,141千円を令和5年度へ繰り越した。							
	決算額	114,793千円									
	執行率	90%									
39	こども保育課		4・大幅に遅れている	指標(単位)	市立幼稚園の非構造部材の耐震化対策実施率(累計) (%)						
	総振CD	2142-01		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD	0401-09		目標	/		0	23.1	46.2	69.2	100.0
	公立幼稚園施設整備事業			実績	/		0	0			
	予算額	0千円		・市立幼稚園において、園児数の減少により休室・休園があいつぎ、整備計画の見直しが必要になったことで計画通りできなかったため、「大幅に遅れている」と評価した。 ・加須市立幼稚園再編計画の策定後、整備計画を見直し、点検及び必要な対策を進める。							
	決算額	0千円									
	執行率	-									

基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

施策1 学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
40	学校教育課	2・ 概ね達成	指標(単位)	幼稚園応援団に登録する市民の数 (人)								
	総振 CD		2215-01	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
	プラン CD		0501-01	目標	/		220	220	220	220		
	学校いきいきステーション事業		実績	250	226	200						
	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園応援団ボランティアの人数は、高齢化に伴い減少傾向にあるものの、目標値の91%となったため「概ね達成」と評価した。 園において、創意工夫を生かした幼稚園応援団の活動を実施した。 コロナ禍において、活動の制限が出る場面もあったが、学校行事や日常の登下校の見守りなど、可能な範囲で活動を実施した 							<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園応援団の高齢化により、登録者が減少している。園ごとに必要な応援団を精査するとともに、新たな応援団の勧誘が喫緊の課題である。 				
	予算額		4,153千円									
	決算額		4,126千円									
	執行率		99%									
			3・ やや遅れている	指標(単位)	学校応援団に登録する市民の数 (人)							
	年度			2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
目標	/			4,300	4,300	4,300	4,300					
実績	4,167	3,888		3,210								
<ul style="list-style-type: none"> 学校応援団ボランティアの人数は、高齢化に伴い減少傾向にあり、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 学校において、創意工夫を生かした学校応援団の活動を実施した。 コロナ禍において、活動の制限が出る場面もあったが、学校行事や日常の登下校の見守りなど、可能な範囲で活動を実施した。 							<ul style="list-style-type: none"> 学校応援団の高齢化により、登録者が減少している。学校ごとに必要な応援団を精査するとともに、新たな応援団の勧誘が喫緊の課題である。 					
予算額		4,153千円										
決算額		4,126千円										
執行率		99%										
41	学校教育課	2・ 概ね達成		指標(単位)	掲示コーナーに掲示したパネル数 (枚)							
	総振 CD			2215-02	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD		0501-02	目標	/		624	624	624	624		
	地域密着型教育広報事業		実績	577	548	535						
	<ul style="list-style-type: none"> 各学校(園)の特色ある教育活動を計画的に市民にパネル公開したため、「概ね達成」と評価した。 							<ul style="list-style-type: none"> 今後もパネル公開を計画的に実施し、学校等の情報を広く地域に広報していく。 				
	予算額		0千円									
	決算額		0千円									
	執行率		—									

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
42	学校教育課	4・大幅に遅れている	指標(単位)	地域の方にあいさつをしている児童生徒の割合 ※「家庭・地域の絆推進運動」アンケート結果より (%)						
	総振CD		2215-06	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0501-03	目標	95					
	あいさつふれあい推進事業		実績	77	76	-				
	<p>・これまでの事業の検証と今後の在り方を見直し、新たな事業展開の手法等を検討するために、本指標の根拠となる「絆アンケート」を令和4年度は実施しなかったため、「大幅に遅れている」と評価した。</p>							<p>・あいさつ運動の実施を市ホームページ(トップページ)にて紹介し、地域への認知度を高める。 ・加須市あいさつ運動推進委員会を活性化し、駅前キャンペーン(5、10月)、市民平和祭(5月)、市民祭り(10月)のあいさつ運動では、他課とも連携を図り、市を挙げたあいさつ運動を行う。</p>		
	<p>・今後もPRグッズを活用したあいさつ運動を推進し、自分からあいさつできる児童生徒の育成を図っていく。</p>									
	予算額		280千円							
決算額		207千円								
執行率		74%								
43	学校教育課	3・やや遅れている	指標(単位)	「加須市あいさつ運動」のPRグッズを常設している学校の割合 (施設)						
	総振CD		2215-03	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0501-04	目標	100					
	保・幼・小中一貫教育事業		実績	100	100	100				
	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、駅での街頭キャンペーンを実施することができなかったが、あいさつ啓発のためのPRグッズを市立幼稚園、小・中学校及び公共施設に配布することなどを通し、可能な範囲であいさつ運動を実施し、目標を達成することができた。</p>									
	予算額		418千円							
	決算額		18千円							
執行率		4%								
44	生涯学習課	4・大幅に遅れている	指標(単位)	「就学前子育て講座、親の学習講座、家庭教育学級」の延べ参加者数 (人)						
	総振CD		2215-05	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0501-06	目標	2,265					
	家庭の学びと地域の絆推進事業		実績	431	453	502				
	<p>・各地域に於いて、各種講座等の計画・準備を進めてきた。一部の講座開設は出来たが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、参加者・スタッフ・関係者の安全面を第一優先に、大半は中止とし、目標値を下回ったため「大幅に遅れている」と評価した。</p>							<p>・就学前の子をもつ保護者にとって、悩みや不安の解消につなげるために必要不可欠であることから、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策へ配慮し、講座開設を行っていく。</p>		
	予算額		127千円							
	決算額		40千円							
執行率		31%								

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等					
	指標(単位)													
45	生涯学習課		4 ・ 大幅に遅れている	指標(単位)	美術作品展示点数 (点)							<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等に合わせ市内の店舗を活用し、子どもたちの絵画を展示することで保護者等に子供たちの取り組みの成果を身近に感じてもらおう機会をつくる。 		
	総振CD	2312-05		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)				
	プランCD	0501-07		目標		982	984	986	988	990				
	まちかど美術館推進事業			実績	0	0	0							
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちかど美術館を全地域で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止となったため、「大幅に遅れている」と評価した。 													
				4 ・ 大幅に遅れている	指標(単位)	美術作品展示店舗数等 (店)							<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等に合わせ市内の店舗を活用し、子どもたちの絵画を展示することで保護者等に子供たちの取り組みの成果を身近に感じてもらおう機会をつくる。 	
	年度	2年度		3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)						
目標		241	242	243	244	245								
実績	0	0	0											
<ul style="list-style-type: none"> ・まちかど美術館を全地域で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止となったため、「大幅に遅れている」と評価した。 														
予算額	79千円													
決算額	0千円													
執行率	0%													
46	子育て支援課		3 ・ やや遅れている	指標(単位)	子ども大学かぞ参加者数(対象：小学4～6年) (人)							<ul style="list-style-type: none"> ・平成国際大学、加須青年会議所及び加須げんきプラザと協働し、コロナ禍においても安全に楽しめるような講義を企画する。 ・教育委員会等への後援依頼をはじめ、積極的に広報活動を行う。 		
	総振CD	2215-16		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)				
	プランCD	0501-08		目標		50	50	50	50	50				
	かぞ子ども大学事業			実績	29	0	27							
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から、募集定員を目標値の半数の25人としたため、「やや遅れている」と評価した。 ・子ども大学かぞ実行委員会を3回、子ども実行委員会を1回開催した。 													
	予算額	274千円												
決算額	177千円													
執行率	65%													
47	学校教育課		1 ・ 目標を達成	指標(単位)	通学路安全対策事業要望に対する対応割合 (%)							<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、改善要望に対して関係課や関係機関と連携し、対応していく。 		
	総振CD	2215-08		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)				
	プランCD	0501-09		目標		100	100	100	100	100				
	通学路安全対策事業			実績	100	100	100							
	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての要望に対して対応を実施、または関係課に対応を依頼でき、目標を達成することができた。 													
	予算額	85,015千円												
決算額	83,994千円													
執行率	99%													

施策3 青少年の健全育成の推進

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
48	生涯学習課	2・ 概ね達成	指標(単位)	成人式出席率(新成人の内、実際に成人式に出席した人数の割合) (%)						
	総振CD		2215-17	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0503-01	目標	/		85	85	85	85
	二十歳の集い開催事業		実績	70	75	71				
	予算額		1,756千円	・新成人による成人式実行委員会との協働により、成人式が円滑に実施がされ、新成人の自覚と意識の高揚が図られたため、「概ね達成」と評価した。						
	決算額		1,459千円							
	執行率	83%								
49	生涯学習課	4・ 大幅に遅れている	指標(単位)	少年の主張、講演会の観客来場人数 (人)						
	総振CD		2215-07	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0503-02	目標	/		600	600	600	600
	青少年健全育成事業		実績	0	0	201				
	予算額		3,007千円	・大会開催へ向けて関係機関と準備を進め、大会当日には新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、人数制限を設け、以前の進め方を見直しして、大会運営に努めたところ、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。						
	決算額		2,953千円							
	執行率	98%								

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

施策1 生涯学習活動の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
	指標(単位)	事務事業達成度における全事業数に対する「概ね順調」「達成済」の割合 (%)										
50	生涯学習課		4 ・大幅に遅れている	指標(単位)	事務事業達成度における全事業数に対する「概ね順調」「達成済」の割合 (%)							<ul style="list-style-type: none"> 多くの事業が新型コロナウイルス感染症の影響を受けているが、第3次生涯学習推進計画を計画的に推進するとともに適正な管理を行う。
	総振CD	2311-02		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0601-02		目標	/		95	95	95	95		
	生涯学習推進計画進行管理事業			実績	100	100	44					
	予算額	133千円		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても可能な事業は推進できたが、多くの事業は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業の目標を達成できず、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。 								
	決算額	98千円										
	執行率	74%										
51	生涯学習課		2 ・概ね達成	指標(単位)	加須市社会教育委員の総会等・研修会への参加 (回)							<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員の専門的知識習得のため、積極的な研修参加を図る。 ・課内全体の事務経費の適切な執行を行う。
	総振CD	2311-06		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0601-03		目標	/		8	8	8	8		
	生涯学習管理事業			実績	0	5	7					
	予算額	2,078千円		<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員の総会・研修が書面開催や一部中止となった催しもあったが、コロナ禍においても開催され、参加ができるようになったことから、目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。 								
	決算額	1,131千円										
	執行率	54%										
52	生涯学習課		2 ・概ね達成	指標(単位)	コミュニティセンターでの講座の受講率 (%)							<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズに合ったセミナーが実施できるよう情報収集を行い、更なる利用者数の増加を図る。 ・市民講師の情報をデータベース化し、市民等の問い合わせに的確かつ迅速に responding していく。
	総振CD	2311-03		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0601-04		目標	/		80	80	80	80		
	生涯学習きっかけづくり支援事業			実績	0	76	72					
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、コミュニティセンターの講座受講率が上がらなかったものの、目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。 											
	3 ・やや遅れている			指標(単位)	生涯学習市民企画委員人数 (人)							<ul style="list-style-type: none"> ・市民企画委員「アシストかそ」や各生涯学習推進員との協働により先駆的で話題性のあるテーマのセミナーを企画運営する。 ・利用者ニーズに合ったセミナーが実施できるよう情報収集を行い、更なる利用者数の増加を図る。 ・市民企画委員「アシストかそ」の活動の紹介や魅力発信を継続し、新規委員の募集を図る。 ・市民講師の情報をデータベース化し、市民等の問い合わせに的確かつ迅速に responding していく。
		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)				
		目標	/		16	16	16	16				
		実績	15	13	12							
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民企画委員の高齢化、加えて新規加入がないことが課題であり、セミナーやイベント、生涯学習情報紙等で市民企画委員への勧誘を行ったが、加入に至らず、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 ・市民企画委員との協働により事業を実施(企画)することで、市民との協働による生涯学習を推進した。 										
予算額	5,325千円											
決算額	3,031千円											
執行率	57%											

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
	指標(単位)	市民学習カレッジの受講率 (人)										
53	生涯学習課		1・目標を達成	指標(単位)	市民学習カレッジの受講率 (人)						<ul style="list-style-type: none"> 市民企画委員「アシストかぞ」や各生涯学習推進員との協働により先駆的で話題性のあるテーマのセミナーを企画運営する。 市民企画委員「アシストかぞ」や協働によりバラエティ豊かなセミナー(講座)を実施(企画・運営)する。 市民企画委員「アシストかぞ」の活動の紹介や魅力発信を継続し、新規委員の募集を図る。 	
	総振CD	2311-04		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0601-05		目標		80	80	80	80	80		
	市民学習カレッジ事業			実績	0	83	81					
	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習を推進するため、市民ボランティア(市民企画委員「アシストかぞ」)と協働で、生涯学習課主催又は共催のセミナーとして75講座を企画し、67講座開催し、市民一人ひとりの生涯学習を通じた学習参加のきっかけづくりと学習活動を支援し、目標を達成することができた。 											
	予算額			2,911千円	4・大幅に遅れている							<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズに合ったセミナー(講座)が実施できるよう情報収集を行うことで、更なる講座の質の向上を図り、サークル化につなげる。
	決算額			2,104千円	指標(単位)	市民学習カレッジサークル化率 (%)						
執行率		72%	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)			
			目標		14	15	15	15	15			
			実績	-	14	6						
<ul style="list-style-type: none"> 67講座開催し、4つの講座のサークル化にとどまったため、「大幅に遅れている」と評価した。 												
54	生涯学習課		4・大幅に遅れている	指標(単位)	シニアいきいき大学の受講定員 (人)						<ul style="list-style-type: none"> 平成国際大学と連携、協議しながら、時代に合った講義内容を充実させる。 	
	総振CD	2311-05		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0601-06		目標		230	230	230	230	230		
	シニアいきいき大学事業			実績	91	99	106					
	予算額			759千円	<ul style="list-style-type: none"> 60歳以上の市民を対象にした平成国際大学との連携事業であり、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として大学からの要請により、自然科学部定員26人(2年生)、社会科学部定員80人(1年生)での実施となったため、「大幅に遅れている」と評価した。 参加者数は、自然科学部26人(2年生)、社会科学部80人(1年生)であり、大学から提示された定員で全日程(合計20回)を実施することができた。 							
決算額		752千円										
執行率		99%										
55	文化・学習センター		3・やや遅れている	指標(単位)	4施設延べ利用者数 (人)						<ul style="list-style-type: none"> 市民に快適に施設利用がされるよう、引き続き、計画的に施設修繕を進める。 市のホームページ(公共施設予約管理システム)により施設の予約状況の確認ができることを周知していく。 	
	総振CD	2311-09		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0601-07		目標		245,000	246,000	247,000	248,000	249,000		
	文化・学習センター管理運営事業			実績	59,944	103,821	159,460					
	予算額			251,102千円	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用の1年から半年前に施設予約を行い、イベント等の企画が新型コロナウイルス感染症による利用人数制限を見込んだことから、利用者数については、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 各施設ともに計画通りに修繕等を実施できた。(主な修繕 加須：給水ポンプユニット交換等 騎西：多目的室照明電球交換等 北川辺：図書館空調室外機修繕等 大利根：業務用給湯器交換修繕等) 							
決算額		235,237千円										
執行率		94%										

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
	指標(単位)										
56	文化・学習センター		3・ やや遅 れている	指標(単位)	プラネタリウム観覧者数 (人)						
	総振 CD	2311-13		年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD	0601-08		目標		15,500	16,000	16,500	17,000	17,500	
	加須未来館管理運営事業			実績	1,819	4,153	10,753				
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、プラネタリウム投影を実施したものの、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 市内小中学校への無料優待券付チラシの配付や、フリーペーパー等への情報提供など、情報発信に力を入れ、観覧者数の回復に努めた。 										
	予算額			55,458千円							
	決算額			52,146千円							
執行率		94%									
56			3・ やや遅 れている	指標(単位)	加須未来館年間来館者数 (人)						
	年度	2年度		3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
	目標			96,000	97,000	98,000	99,000	100,000			
	実績	19,341		26,908	42,337						
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、各種事業(加須市少年少女発明クラブ、天体講座、フリー・トライデー等)やプラネタリウム投影を実施し入場者数の回復に努めたものの、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 施設管理については、蓄熱槽の水位センサー交換など計画通りに修繕等を実施できた。 										
	予算額			55,458千円							
	決算額			52,146千円							
執行率		94%									
57	生涯学習課		4・ 大幅に遅 れている	指標(単位)	余裕教室利用団体数 (団体)						
	総振 CD	2311-12		年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	プラン CD	0601-12		目標		4	4	4	4	4	
	余裕教室等活用事業			実績	3	0	0				
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用していた団体も活動を休止し利用を控えたため、「大幅に遅れている」と評価した。 										
	予算額			0千円							
	決算額			0千円							
執行率		-									
※余裕教室等 2校2教室 北川辺東小、礼羽小											
<ul style="list-style-type: none"> 各学校における一時利用可能教室数が減少しているため、各学校と調整を図り利用可能校を増やしていく。 利用者を増やすために、更なる周知を図っていく。 											

施策2 芸術文化の振興

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
58	文化・学習センター	3 ・ やや遅れている	指標(単位)	4施設延べ利用者数 (人)						
	総振CD		2312-03	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0602-01	目標		245,000	246,000	247,000	248,000	249,000
	文化・学習センター芸術文化振興事業		実績	59,944	103,821	159,460				
	<p>・施設利用の1年から半年前に施設予約を行い、イベント等の企画が新型コロナウイルス感染症による利用人数制限を見込んだことから、利用者数については、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。</p>							<p>・市のホームページ(公共施設予約管理システム)により施設の予約状況の確認ができることを周知していく。</p>		
	<p>・各公演ごとに新型コロナウイルス感染症対策による利用人数制限により、来場者数が目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。</p>									
<p>・公演数はコロナ禍前の水準に近づいた。(7公演)</p>										
<p>・令和4年度市民実行委員会とのコラボによりミュージカルを開催した。</p>										
予算額	4,083千円									
決算額	2,166千円									
執行率	53%									
59	生涯学習課	3 ・ やや遅れている	指標(単位)	各地域文化祭の来場者数 (人)						
	総振CD		2312-01	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0602-02	目標		20,500	20,600	20,700	20,800	20,900
	地域文化振興事業		実績	0	0	14,000				
	<p>・各地域の文化祭実行委員会と協議し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮しながら、4地域の全ての文化祭を3年振りに開催した。市民の文化芸術活動の振興に寄与できたが、文化祭来場者はコロナ禍以前の7割程度となったため、「やや遅れている」と評価した。</p>							<p>・今後も、市民が文化・芸術に参加、鑑賞、発表できる機会を充実させ、市民文化の高揚を図り、多くの市民が参加する芸術、文化活動を図っていく。</p>		
	<p>・各公演ごとに新型コロナウイルス感染症対策による利用人数制限により、来場者数が目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。</p>									
<p>・公演数はコロナ禍前の水準に近づいた。(7公演)</p>										
<p>・令和4年度市民実行委員会とのコラボによりミュージカルを開催した。</p>										
予算額	6,106千円									
決算額	5,173千円									
執行率	85%									
59	生涯学習課	3 ・ やや遅れている	指標(単位)	文化祭の参加団体数 (団体)						
	総振CD		2312-01	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0602-02	目標		240	245	250	250	250
	地域文化振興事業		実績	0	0	160				
	<p>・各地域の文化祭実行委員会と協議し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮しながら、4地域の全ての文化祭を3年振りに開催した。市民の文化芸術活動の振興に寄与できたが、文化祭来場者はコロナ禍以前の7割程度となったため、「やや遅れている」と評価した。</p>							<p>・コロナ禍による活動制限は、文化芸術団体の活動の抑制・減少にも影響したが、今後は、多くの市民が参加できる魅力ある創作活動の発表の場をつくり、市内芸術文化の向上を図っていく。</p>		
	<p>・各公演ごとに新型コロナウイルス感染症対策による利用人数制限により、来場者数が目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。</p>									
<p>・公演数はコロナ禍前の水準に近づいた。(7公演)</p>										
<p>・令和4年度市民実行委員会とのコラボによりミュージカルを開催した。</p>										
予算額	6,106千円									
決算額	5,173千円									
執行率	85%									

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
60	生涯学習課	4・大幅に遅れている	指標(単位)	地区文化祭来場者数 (人)						
	総振CD		2312-02	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0602-03	目標		11,300	11,300	11,300	11,300	11,300
	地区文化祭振興事業		実績	0	0	2,800				
	予算額		855千円	・人数制限や飲食禁止等の多くの規制の中、各地区実行委員会で工夫を凝らした文化祭を実施した。こうした中、新型コロナウイルス感染症拡大により講座の遅延や中止もあり、出展作品や活動発表の数が少なく、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。 ●文化祭実施地区【7地区】：加須、不動岡、礼羽、水深、樋遣川、志多見、大越 ●作品展等実施地区【2地区】：三俣、大桑						
	決算額		600千円							
執行率	70%									
61	生涯学習課	3・やや遅れている	指標(単位)	偉人パネル展年間開催回数 (回)						
	総振CD		2312-04	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0602-04	目標		8	8	8	8	8
	偉人顕彰事業		実績	1	2	6				
	予算額		4,521千円	・新型コロナウイルス感染症拡大により、パネル展示を実施するイベントの一部が中止となったため、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。						
	決算額		4,343千円							
執行率	96%									

施策3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
62	生涯学習課	3・やや遅れている	指標(単位)	北川辺郷土資料館の来館者数 (人)						
	総振CD		2313-04	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0603-01	目標		760	765	770	775	780
	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業		実績	139	577	396				
	予算額		3,364千円	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、小学校の見学等受け入れたが、利用者が目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。						
	決算額		3,087千円							
執行率	92%									
62	生涯学習課	1・目標を達成	指標(単位)	騎西郷土史料展示室の来館者数 (人)						
	総振CD		2313-04	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)
	プランCD		0603-01	目標		2,660	2,645	2,690	2,705	2,720
	騎西郷土史料展示室		実績	101	601	2,899				
	予算額		3,364千円	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、騎西郷土史料展示室を特別公開した。小学校の見学数は減ったが、来館者は概ねコロナ禍以前に戻りつつあることから、「目標を達成」と評価した。						
	決算額		3,087千円							
執行率	92%									

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
	指標(単位)										
63	生涯学習課		1・ 目標を達成	指標(単位)	インターネット博物館のアクセス回数 (件)						<ul style="list-style-type: none"> コンテンツの追加を目指し、最近注目されている、騎西城跡の発掘調査に関する資料や、加須市の偉人に関するコンテンツを充実させていく。
	総振CD	2313-02		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD	0603-02		目標	/						
	加須インターネット博物館管理運営事業			実績	14,557	15,490	19,377				
	予算額			415千円	<ul style="list-style-type: none"> 郷土史料展示室公開日や、玉敷神社神楽の奉納日をインフォメーションに掲載しリアルタイムな情報発信に努め、目標を達成することができた。 アクセス回数は増加傾向であり、より多くの閲覧者に周知ができています。 騎西城跡の発掘調査報告書をPDFで掲載し、報告書の閲覧がインターネット上でいつでも可能な環境を整えた。 						
	決算額			415千円							
執行率		100%									
64	生涯学習課		2・ 概ね達成	指標(単位)	伝統文化保存会後継者数 (人)						<ul style="list-style-type: none"> 他市同事例を参考に保存会の活性化を支援する。
	総振CD	2313-03		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD	0603-03		目標	/						
	伝統文化継承支援事業			実績	318	310	274				
	予算額			1,195千円	<ul style="list-style-type: none"> 伝統文化保存会員の後継者が減少しているものの、目標値ほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。 						
	決算額			930千円							
執行率		78%									
65	生涯学習課		2・ 概ね達成	指標(単位)	文化財回答件数(文化財質問への回答件数) (件)						<ul style="list-style-type: none"> 今後も、市内外に文化財に関する情報を提供し、興味関心をもってもらおうように努める。
	総振CD	2313-01		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD	0603-04		目標	/						
	文化財の保存と活用による地域活性化事業			実績	93	86	86				
	予算額			14,047千円	<ul style="list-style-type: none"> 窓口や電話等における文化財の質問に対して、迅速でわかりやすい回答を心掛けるとともに、必要な資料を収集し回答したことで、目標値ほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。 						
	決算額			6,617千円							
執行率		47%									

施策4 読書活動の推進

【事業】 【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
	指標(単位)										
66	図書館課		4・ 大幅に遅れている	指標(単位)	事業の満足度 (%)						<ul style="list-style-type: none"> 絵本の読み聞かせや、事業についてのアンケートをコロナ禍で実施する方法を探る。
	総振CD	2314-03		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD	0604-03		目標	/						
	絵本との親子ふれあい事業			実績	-	-	-				
	予算額			384千円	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、絵本の読み聞かせ及び絵本との親子ふれあい事業についてのアンケート調査を実施することができなかったため、「大幅に遅れている」と評価した。 						
	決算額			367千円							
執行率		96%									

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
	指標(単位)											
67	図書館課		1・ 目標を達成	指標(単位)	ブックトークの年間実施回数 (回)						・学校訪問を実施し、学校に働きかけをして参加校数の増加に努める。	
	総振CD	2314-04		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0604-04		目標	/		24	25	26	27		28
	ブックトーク・おはなし会開催事業			実績	3	17	31					
	予算額			110千円	・学校の依頼により、授業中に職員が訪問してブックトークを行い、子どもたちの読書活動の推進に努めることにより、目標を達成することができた。							
	決算額			92千円								
	執行率			84%								
68	図書館課		1・ 目標を達成	指標(単位)	市民1人当たりの蔵書数 (冊)						・引き続き、計画的な図書館資料の購入・収集・受入・除籍の実施をする。	
	総振CD	2314-05		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0604-05		目標	/		5.25	5.26	5.27	5.28		5.30
	図書資料整備充実事業			実績	5.28	5.29	5.28					
	予算額			21,181千円	・図書館資料の計画的な購入・収集・受入・除籍の実施により目標を達成できた。							
	決算額			20,940千円								
	執行率			99%								
69	図書館課		3・ やや遅れている	指標(単位)	市民一人当たりの年間貸出冊数 (冊)						・引き続き、安全な環境を整備し、利用者の拡大に努める。	
	総振CD	2314-06		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0604-06		目標	/		5.10	5.20	5.20	5.30		5.30
	図書館管理運営事業			実績	3.27	4.18	4.06					
	予算額			76,425千円	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、非接触型体温計、除菌ボックス、空気清浄機などを購入し、安全な環境づくりに努めたが、入館者数がコロナ禍以前の状態に戻らず、貸出数が目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。							
	決算額			76,248千円								
	執行率			100%								
70	図書館課		3・ やや遅れている	指標(単位)	図書館まつり参加者数 (人)						・引き続き、ボランティア団体との協働による、安全な図書館まつりを開催する。	
	総振CD	2314-07		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0604-07		目標	/		3,515	3,535	3,555	3,575		3,600
	図書館まつり開催事業			実績	0	-	2,642					
	予算額			0千円	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、ほぼ、コロナ禍以前の図書館まつりを実施することができたが、参加者数は目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。							
	決算額			0千円								
	執行率			-								

施策5 人権教育の推進

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
71	生涯学習課		4 ・ 大幅 に 遅 れ て い る	指標(単位)	人権教育推進事業への延参加者数 (人)							
	総振 CD	2511-04		年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
	プラン CD	0605-04		目標		6,000	6,000	6,000	6,000	6,000		
	人権教育推進事業			実績	1,886	533	2,416					
	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の規模縮小により、参加人数を制限して実施したため、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。 ・新型コロナウイルス感染症の減少状況や安全対策を進めながら講座を実施したことなどにより、令和3年度よりも参加者数が増加した。 							<ul style="list-style-type: none"> ・参加者に理解しやすい講座を計画し、今後も人権意識を高める啓発を行い、人権問題を解決していく。 				
				4 ・ 大幅 に 遅 れ て い る	指標(単位)	人権問題講演会等の延受講者数 (人)						
	年度	2年度			3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
	目標				1,850	1,850	1,850	1,850	1,850			
	実績	312			1,503	875						
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度については、対面式による講演会の開催であったため、令和3年度の書面方式の開催よりも参加者が減少し、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。 							<ul style="list-style-type: none"> ・参加者に理解しやすい講座を計画し、今後も人権意識を高める啓発を行い、人権問題を解決していく。 				
予算額	8,667千円											
決算額	4,824千円											
執行率	56%											

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります

施策1 スポーツ参画人口の拡大

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等				
72	スポーツ振興課	3 ・ やや遅れている	指標(単位)	数値目標の達成率 (%)				<ul style="list-style-type: none"> 第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画に基づき、スポーツ団体等への支援をはじめ、スポーツにふれる機会などをつくり、スポーツを普及推進する。 				
	総振CD		2411-02	年度	2年度	3年度	4年度(決算)		5年度	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0701-02	目標	/		80		80	80	80	
	スポーツ・レクリエーション推進計画進行管理事業		実績	67	73	57						
	予算額		103千円	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響による大会中止や規模の縮小により、施設利用者の減少により目標を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、スポーツ推進審議会を书面開催としたため執行率が低くなった。 								
	決算額		37千円									
執行率	36%											
73	スポーツ振興課	2 ・ 概ね達成	指標(単位)	スポーツ・レクリエーション団体の加盟人数 (人)				<ul style="list-style-type: none"> スポーツ協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団の加盟人数を増やすため、ホームページなどの広報活動を充実する。 				
	総振CD		2411-03	年度	2年度	3年度	4年度(決算)		5年度	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0701-03	目標	/		5,300		5,500	5,600	5,800	6,000
	スポーツ普及推進事業		実績	5,488	4,940	4,497						
	予算額		17,454千円	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症によるスポーツ活動の自粛などもあり、スポーツ・レクリエーション団体への加盟会員は減少傾向にあるものの、目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。 								
	決算額		16,118千円									
執行率	92%											
74	スポーツ振興課	4 ・ 大幅に遅れている	指標(単位)	地域体育祭参加者数 (人)				<ul style="list-style-type: none"> 地域住民相互の交流を図るため継続して支援していく。市民参加を促進する安全・安心な体育祭開催に向けてプログラムの見直し等を進める。 				
	総振CD		2411-04	年度	2年度	3年度	4年度(決算)		5年度	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0701-04	目標	/		7,100		7,100	7,100	7,100	
	市民体育祭支援事業		実績	0	0	0						
	予算額		2,526千円	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、全地域で体育祭の開催を中止したため、「大幅に遅れている」と評価した。 								
	決算額		0千円									
執行率	0%											
75	スポーツ振興課	4 ・ 大幅に遅れている	指標(単位)	スポーツ教室参加人数 (人)				<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康づくり、コミュニティづくり、スポーツの振興・普及拡大を図るため効果的な事業を進める。 				
	総振CD		2411-05	年度	2年度	3年度	4年度(決算)		5年度	6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0701-05	目標	/		740		780	800	800	
	スポーツ教室等開催事業		実績	126	210	289						
	予算額		1,327千円	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、規模の縮小や事業の中止をしたため参加者数が目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、小学生スキー教室や小学生水泳教室を中止したため、指導者への謝礼や保険料等が不要となったため執行率が低くなった。 								
	決算額		213千円									
執行率	16%											

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
76	スポーツ振興課	2・概ね達成	指標(単位)	グラウンドゴルフ競技人口数 (人)						<ul style="list-style-type: none"> 誰でも気軽にできる健康づくりのスポーツであり、協会に加盟していない愛好者も大会に参加できるよう協会と連携していく。 	
	総振CD		2411-06	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度		7年度(目標年)
	プランCD		0701-06	目標		1,300	1,330	1,350	1,380		1,400
	グラウンドゴルフ推進事業		実績	1,219	1,133	1,115					
	予算額		305千円	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ協会やレクリエーション協会主催による大会が多く開催され、高齢者を中心に加盟者数も目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。 							
	決算額		300千円								
	執行率		98%								
77	スポーツ振興課	3・やや遅れている	指標(単位)	ウォーキング大会開催数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングは誰もが簡単にできる健康づくりであり、引き続き、スポーツ協会と連携し事業を進めていく。 	
	総振CD		2411-07	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度		7年度(目標年)
	プランCD		0701-07	目標		14	14	14	14		14
	健康スポーツ推進事業		実績	4	7	8					
	予算額		124千円	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら大会を開催したが、雨天等により一部中止の大会があり、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 							
	決算額		73千円								
	執行率		59%								
78	スポーツ振興課	2・概ね達成	指標(単位)	加須こいのぼりマラソン大会、加須ふじの里駅伝大会の市民ボランティアの人数 (人)						<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進委員による市民スポーツ活動の推進を継続するほか、市民協力によるボランティア活動の人材確保を引き続き行う。 	
	総振CD		2411-13	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度		7年度(目標年)
	プランCD		0701-13	目標		800	800	800	800		800
	スポーツ支援人材育成・活用事業		実績	0	0	699					
	予算額		5,457千円	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体からの協力や学生等による運営ボランティアの協力を得て活動することができ目標値にほぼ達しているため、「概ね達成」と評価した。 							
	決算額		3,816千円								
	執行率		70%								
79	スポーツ振興課	4・大幅に遅れている	指標(単位)	総合型地域スポーツクラブ会員数 (人)						<ul style="list-style-type: none"> 平成国際大学を利用したスポーツクラブの設立に向け、検討、協議を進めていく。 	
	総振CD		2411-15	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度		7年度(目標年)
	プランCD		0701-15	目標		900	900	900	900		900
	総合型地域スポーツクラブ育成事業		実績	450	350	350					
	予算額		22千円	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、新たな総合型地域スポーツクラブの設置等がなかったため、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。 							
	決算額		0千円								
	執行率		0%								
80	スポーツ振興課	1・目標を達成	指標(単位)	年度計画に対する整備率 (%)						<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化に伴い順次改修を行い、安全・安心な施設運営に努めていく。 	
	総振CD		2411-16	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度		7年度(目標年)
	プランCD		0701-16	目標		60	65	70	75		75
	スポーツ施設整備事業		実績	62	64	68					
	予算額		2,000千円	<ul style="list-style-type: none"> 施設の安全管理のため、安全管理上必要なものから実施し、施設の整備・充実を図ることができ、目標を達成することができた。 							
	決算額		1,859千円								
	執行率		93%								

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
81	スポーツ振興課	3・ やや遅 れている	指標(単位)	体育館、運動公園施設の年間利用者数 (人)						
	総振 CD		2411-17	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)
	プラン CD		0701-17	目標	660,000 665,000 670,000 675,000 680,000					
	スポーツ施設管理運営 事業		実績	292,698 386,268 450,595						
	予算額		146,158千円	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、大会の中止や規模の縮小をしたため目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。						
	決算額		134,482千円							
	執行率		92%							
82	スポーツ振興課	1・ 目標を 達成	指標(単位)	学校体育施設年間利用者数 (人)						
	総振 CD		2411-18	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)
	プラン CD		0701-18	目標	170,000 180,000 190,000 200,000 210,000					
	学校体育施設開放管理 運営事業		実績	78,594 126,087 193,685						
			・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、利用者に注意喚起を行い貸し出しを行い、目標を達成することができた。							
	予算額		4,755千円							
	決算額		3,769千円							
執行率	79%									
83	スポーツ振興課	2・ 概ね 達成	指標(単位)	彩の国KAZOヴィレッジの年間利用市内団体数 (団体)						
	総振 CD		2411-19	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)
	プラン CD		0701-19	目標	250 260 270 280 290					
	民間・県施設活用事業		実績	133 208 232						
			・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、貸出制限等があったが概ね目標を達成した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、各種団体において大会開催を中止等したため執行率が低かった。							
	予算額		76千円							
	決算額		4千円							
執行率	5%									
84	スポーツ振興課	1・ 目標を 達成	指標(単位)	不具合による事故発生件数 (件)						
	総振 CD		2411-21	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)
	プラン CD		0701-21	目標	0 0 0 0 0					
	スポーツ施設安全点検 事業		実績	0 0 0						
			・利用者が安心・安全に施設を利用できるよう、日々安全点検を実施し、目標を達成することができた。							
	予算額		0千円							
	決算額		0千円							
執行率	-									

施策2 スポーツを核とした交流人口の拡大

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等				
85	スポーツ振興課	1・ 目標を達成	指標(単位)	女子硬式野球観客数				(人)	<ul style="list-style-type: none"> ・選抜大会の開催や埼玉西武ライオンズ・レディースの活動拠点として引き続き活動できるよう支援していく。 			
	総振CD		2412-01	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度		6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0702-01	目標	/		12,800	13,800		14,800	14,800	14,800
	女子硬式野球振興事業		実績	無観客	5,009	15,830						
	予算額		3,208千円	<ul style="list-style-type: none"> ・野球連盟や地元の学生と協働し運営しており、毎年、参加チーム数が増加し「女子野球の聖地」として全国にPRできたことから、「目標を達成」と評価した。 								
	決算額		2,767千円									
執行率	86%											
86	スポーツ振興課	3・ やや遅れている	指標(単位)	クライミングウォール利用者数(加須市民体育館、南篠崎体育館)				(人)	<ul style="list-style-type: none"> ・常設4面のクライミングウォールを活かした事業を引き続き展開していく。 			
	総振CD		2412-02	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度		6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0702-02	目標	/		11,000	11,500		12,000	12,500	13,000
	クライミング普及事業		実績	3,870	6,124	7,711						
	予算額		3,342千円	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、教室等の規模を縮小したため利用者数も目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 								
	決算額		2,607千円									
執行率	78%											
87	スポーツ振興課	1・ 目標を達成	指標(単位)	自転車競技大会開催数				(回)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、自転車競技大会を開催し市民スポーツへの関心を高める。 			
	総振CD		2412-03	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度		6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0702-03	目標	/		3	3		3	3	3
	自転車普及推進事業		実績	3	4	3						
	予算額		147千円	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者と協議を行いながら、規模の縮小等の工夫をし大会を開催することにより、目標を達成することができた。 ・自転車教室における備品購入費を見込んだが、VRIによる教室を開催したため不要となり、執行率が低くなった。 								
	決算額		58千円									
執行率	39%											
88	スポーツ振興課	4・ 大幅に遅れている	指標(単位)	こいのぼりマラソン大会参加者数				(人)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康増進と生涯スポーツの振興を図るため、個人でできる冬のスポーツ事業として引き続き実施していく。 			
	総振CD		2412-04	年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度		6年度	7年度(目標年)	
	プランCD		0702-05	目標	/		6,500	6,500		6,500	6,500	6,500
	こいのぼりマラソン大会開催事業		実績	0	0	3,000						
	予算額		21,842千円	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、定員を半分程度(3,000人)に縮小して開催したことにより、目標値を下回ったため、「大幅に遅れている」と評価した。 ・定員3,000人に対し、参加者3,000人で開催することができた。 								
	決算額		15,968千円									
執行率	73%											

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名		評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等			
	指標(単位)											
89	スポーツ振興課		3 ・ やや遅れている	指標(単位)	加須ふじの里駅伝大会参加チーム数 (チーム)						<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康増進や体力向上を図る事業として引き続き実施していく。 	
	総振CD	2412-05		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0702-06		目標	/		250	250	250	250		250
	加須ふじの里駅伝大会支援事業			実績	0	0	183					
	予算額	1,332千円		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、定員を2/3程度(180チーム)に縮小して開催したことにより、目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 定員180チームに対し、参加183チームで開催することができた。 								
	決算額	1,332千円										
	執行率	100%										
90	スポーツ振興課		1 ・ 目標を達成	指標(単位)	全国大会等の誘致数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、主催者と連携し大会運営や運営支援を行う。 	
	総振CD	2412-06		年度	2年度	3年度	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	プランCD	0702-07		目標	/		14	14	14	14		14
	全国大会等支援事業			実績	5	10	14					
	予算額	94千円		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、計画どおり大会を開催することができたことから、「目標を達成」と評価した。 								
	決算額	89千円										
	執行率	95%										

その他の教育事業

【事業】

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	所管課 事務事業名	評価	成果・目標指標 指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
91	教育総務課	3・ やや遅 れている	指標(単位)	教育委員が訪問した教育関連施設数 (校・園)						
	総振 CD		2211-28	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)
	プラン CD		-	目標	/					
	教育委員会運営事業		実績	6	10	17				
	予算額		4,055千円	<ul style="list-style-type: none"> 教育関連施設の小学校5校、中学校1校、幼稚園4園、文化・学習センター4施設、図書館1館、コミュニティセンター1施設、県立特別支援学校1校を6日間で訪問した。その結果、教育委員の見識を深めることができ、会議での議論の活発化にもつながったものの、訪問施設数は目標値を下回ったため、「やや遅れている」と評価した。 教育委員会定例会を12回開催し、教育委員会の権限に属する事務について協議や審議を行うとともに、議決簿及び会議録をHPで公表した。 教育委員会交際費をHPで公表した。 						
	決算額		3,473千円							
執行率	86%									
92	教育総務課	1・ 目標を達 成	指標(単位)	「加須市の教育」発行部数 (部)						
	総振 CD		2211-29	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)
	プラン CD		-	目標	/					
	教育委員会事務局管理 事業		実績	160	160	160				
	予算額		1,438千円	<ul style="list-style-type: none"> 「加須市の教育」について、目標部数の160部を発行し、関係機関等に配布するとともに、HPで公表したため、「目標を達成」と評価した。 昭和中学校を会場に教育功労者表彰式を実施し、推薦基準に基づく11人を表彰した。 「加須市の教育」の印刷に係る契約差金が生じたほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止などのため、総会や研修会への参加見送りや書面開催などにより執行率は49%にとどまった。 						
	決算額		708千円							
執行率	49%									
93	教育総務課	3・ やや遅 れている	指標(単位)	目標達成率 〔「概ね達成」「目標を達成」の事業数÷全事業数×100〕 (%)						
	総振 CD		2211-02	年度	2年度	3年度	4年度 (決算)	5年度	6年度	7年度 (目標年)
	プラン CD		-	目標	/					
	加須市人づくりプラン 進行管理事業		実績	-	85.7	59.2				
	予算額		0千円	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は、156事業179指標のうち106指標(59.2%)が「概ね達成」「目標を達成」であるため、「やや遅れている」と評価した。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった事業を除いて評価し、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものも含めて評価したため、実績値が前年度よりも低くなった。 						
	決算額		0千円							
執行率	-									

5 令和3年度評価を踏まえた取組状況等

令和3年度の教育委員会点検・評価で元加須市教育委員の小林義之氏及び元大桑小学校校長新井信男氏の2名の学識経験者からいただいたご意見に対する取組状況等をまとめました。

評価に関する全体的な意見

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	—	学校教育部学校教育課
<p>令和3年度の業務遂行での特徴の一つは、昨年度同様に新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けたことであり、業務遂行の概況として、38/97（約39%相当）が「コロナによる影響」として評価の対象とならなかったことは非常に残念です。</p> <p>従って教育行政全般に対するそのマイナス影響と今後の挽回策・対応内容についての検討が特に必要と考えます。</p> <p>例：全年齢層でのコロナ禍による外出活動自粛下での体力維持向上について 例：制約を想定した状況下での学力や生涯学習の向上、ICT活用の推進について</p> <p>【小林】</p>			
令和4年度 の取組状況等	<p>令和4年度につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する対策を講じたうえで、教育活動を可能な限り実施しております。来賓をお招きしての運動会・体育祭の実施や市内音楽会の実施、中学校修学旅行の3年ぶりの実施や小学校陸上記録会など、多くの活動を実施することができております。学校教育課の事業についても、サイエンススクールや加須学びTime、あいさつ推進の運動なども実施することができております。引き続き、感染拡大状況に注視しながらも、子どもたちの健やかな成長のために、教育行政全般を前向きに進めてまいります。</p>		

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	—	学校教育部学校教育課
<p>児童生徒にとって望ましい授業は学力とやる気に合った授業が受けられることと思います。教師には負担と思いますが、そうでなければ全体的なレベルアップは難しいと考えます。教育活動補助員の配置効果には期待しています。自ら学ぶ力の育成は重要であり、教師にはその育成を期待します。教師の指導力については学力検査結果で判断する厳しさも必要と思います。【小林】</p>			
令和4年度 の取組状況等	<p>初任者に対する指導支援や、経験豊かな先輩教員をファシリテーターに迎え、若手教員を対象に実施する座談会「学びテラス」、市内の実績のある教員を指導委員として行う各種研修会などを通して、特に若手教</p>		

	<p>員を中心とした指導力向上に努めております。また、指導主事が若手教員の授業観察を行い、指導助言する回数をより確保することを計画しております。</p> <p>子どもの学力向上は、教師の指導力向上と同義です。引き続き、教職員の育成を図ってまいります。</p>
--	---

施策1 幼児教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0101-02	2131-16	幼稚園預かり保育事業	こども局こども保育課
<p>加須市の公立幼稚園は、全国的にも誇れるものです。日頃の幼稚園における教育・保育は、先生方が大変よく工夫しており、それによって、保護者からの信頼も大きいものです。</p> <p>全国及び県内の公立幼稚園が減少する中、加須市の幼稚園のあり方も検討されているようですが、現時点では、保護者の教育的ニーズをよく取り入れていると考えます。その1つが本事業であり、コロナ時代においても、各園が工夫して、預かり保育を実施できたと言えると考えます。【新井】</p>			
令和4年度 の取組状況等	<p>加須市の公立幼稚園は、環境を通じた教育を重視し、幼児期にふさわしい生活が送れるよう努めております。</p> <p>さらに、子育て支援とし、預かり保育を実施しておりますが、多様化する保護者のニーズに応え、教育活動の終了後、家庭的な雰囲気の中で無理なく活動できるよう、預かり保育職員との連携を密にし、今後も、安心・安全な保育を実施するよう努めます。</p>		

施策2 一人ひとりを伸ばす教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-01	2211-05	少人数学級推進事業	学校教育課
<p>本事業の指標は、人的な配置状況です。現在、「学校における働き方改革」が社会問題にもなっており、文科省も県も市も具体的な目標値を定めています。その目標値が達成できるかどうかに関わる重要な取組は、人的配置であると考えます。現場で働く教員一人一人の働き方を改革するには、業務量の削減を抜きに語れません。そのための人的配置は最も効果的な方策であると考えます。</p> <p>本事業により配置された教育活動補助員は、小学校・中学校の教員免許状を所有し、よい授業を展開する実践力をもっています。実際に、各学校において大きな成果を上げています。このような教育活動補助員を一人でも多く配置することは、学校にとって、子どもたちにとって、大変重要であることを強く感じます。本事業の拡大を強く望みます。【新井】</p>			
令和4年度 の取組状況等	<p>小・中学校において、算数・数学を中心に、少人数による学習内容の習熟の程度に応じた指導や選択学習、個別指導等、様々な形で「個に応</p>		

	<p>じた指導」を実施しております。児童生徒に優越感や劣等感を生じさせたり、学習意欲を低下させたりすることのないよう、担任と協力し、役割を柔軟に変えながら授業を展開することで、児童生徒の理解度やつまづきを把握することができております。さらに、授業以外においても担任と連携し、個に応じた生徒指導や教育相談の充実を図ることができており、不登校傾向の児童生徒の早期発見やいじめ等の未然防止に大きく寄与しております。今後も引き続ききめ細やかな指導方法の工夫・改善を進めてまいります。</p>
--	---

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-02	2211-11	学力アップ事業	学校教育課
<p>この事業の目的は、「学力向上を図るため、・・・学習指導の展開を目指す」とありますが、指標が県学調の県平均正答率と市平均正答率の比較となっていることがどうなのかと思われま。指標が限られていることは理解できますが、子どもたちの学力は、県学調をとってみても、いわゆる教科の点数の結果だけではなく、質問紙調査や非認知能力の結果についても含めて評価したいものです。例えば小学校の児童の学力は、国語と算数の点数だけで語ってよいものでしょうか。仮にその点数にしても、子どもたちの学力の伸びとして、評価するかが重要であると考えます。単なる平均正答率の比較では、この事業はおろか、子どもたちの学力向上を図ることはできないと考えます。</p> <p>学力は、児童生徒一人一人の伸びとして捉えることが大切であると考えます。その学力の伸びが、県学調の結果には明確に示されていますので、県と市で比較することができます。平均正答率に左右されるのではなく、加須市の子どもたちの学校生活における学習への取組実践や意欲・態度は、県と比較して上回る項目が多くあることを評価したいです。学力の3要素は、基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度です。点数や平均正答率では学力は測れないと考えます。</p> <p>中学生の「加須まなびT i m e」が実施できなかったのは、新型コロナウイルス感染症の影響であり、納得できますが、今後、コロナ時代にどう対応していくのか検討しておくべき課題であると考えます。【新井】</p>			
令和4年度 の取組状況等	<p>令和4年度、平均正答率だけでなく、各校の学力の伸びに着目するとともに、児童/生徒質問紙と正答率の関連性について分析することで、「進路指導・キャリア教育の充実が、子ども達の学力向上につながる」など、子ども達の成長を多角的な視点で捉え、各校に対し、教育活動の充実を図るよう、校長・園長研究協議会や支援担当訪問等、様々な場面を通じて指導をしております。</p> <p>学力テストの数値で図りうる部分は、あくまで学力の一側面であります。今後も、学校だからこそ学べる経験や体験を大切にしながら、子ども達の「生きる力」の育成に努めてまいります。</p> <p>「加須まなびT i m e」は、6月初旬から各会場で実施し、生徒の学習機会を確保しました。加須市の子ども達に学ぶ機会を確保していくた</p>		

	<p>め、引き続き、活動の充実を図ってまいります。</p> <p>また、市独自のチャレンジテストを2月に実施し、各校で分析することで、児童生徒の実態に合わせた学力向上に努めております。</p>
--	--

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-03	2211-12	小学校英語教育推進事業	学校教育課
<p>目標 50%、達成率 45%と低いのは何故でしょうか。小学生からつまずくとその後が心配です。100%目標は高過ぎるのでしょうか。教え方の工夫は必要ないでしょうか。</p> <p>【小林】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>本目標は「目標を十分に達成できた（A評価）児童」の割合を指標としております。「目標を達成できた（B評価）児童」も併せて、市内の児童の達成率が100%となるよう、英語教育研究員、英語専科教員、AFTと連携し、学びの充実に努めてまいります。</p> <p>これまでは中学生を対象としていたイングリッシュサマーキャンプを、小学生にも対象を広げることを検討しております。</p>		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-03	2211-12	小学校英語教育推進事業	学校教育課
0102-04	2211-13	中学校英語教育推進事業	
<p>中学校の英語の学力検査の点数だけで言えば、加須市は課題があることはここ数年承知しています。しかし、本事業の指標が、点数でない点を注視します。小学校は外国語の目標を概ね達成した児童の割合及び楽しいと感じている児童の割合、中学校は英検3級程度の英語力を有する中学校3年生の割合となっています。この事業の目的は、それぞれ「・・・言語や文化に対する理解を深め、・・・コミュニケーション能力（態度）を育成する」こととなっており、指標として示している内容は、小学校については、外国語の目標を概ね達成したとありますが、具体的にはどういうことでしょうか。また中学校についても、英検3級程度とは具体的に何を基準にしているのか確認したいです。また、加須市内の全数調査なのかも確認したいです。</p> <p>さらに、本事業における英語教育研究員の学校訪問や研修は、大変効果的です。このことは全国的にも例を見ない実践です。教育委員会事務局に英語教育研究員がおり、ネイティブな英語を身に付けているとともに、日本文化や日本の教育についても精通しているという点は素晴らしいことです。英語への関心が高まる中、本事業の意義と実績を広く知らせていただきたいです。【新井】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>小学校中学年における「外国語活動」の目標は外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通してコミュニケーションの素地となる資質・能力の育成、高学年における「外国語」の授業の目標は中学年までの活動に加え、読むこと、書くことの学習活動を通してコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成となっております。その達成状況について、市内の小中学生に対し全数調査を行った結果、計画の9割を達成し</p>		

	<p>ていたことから、「概ね達成」の評価としております。また、英語検定3級は、「中学校3年生程度の英語力」と規定されており、義務教育の中で身に付けるべき力がついているかどうかを測る上での指標として、実際の3級取得者と、各中学校の教員の判断で、同程度の英語力を身に付けていると考えられる生徒数を調査しております。</p> <p>今後も、英語教育研究員と担当で連携し、教員、AFT（外国語活動指導助手）、ALT（外国語指導助手）が一体となって、本市の子ども達の英語力向上に努めてまいります。</p>
--	---

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-04	2211-13	中学校英語教育推進事業	学校教育課
<p>英語検定3級程度の中3生徒の割合（33%）が非常に低い。このような実態では上位生徒と下位生徒と一緒に勉強すること、及び先生方のご苦勞と同時に授業効率の悪さを察します。【小林】</p>			
令和4年度 の取組状況等	<p>市内中学生の英語力には2極化という課題があります。英語教育研究員と連携し、県学力・学習状況調査から見えてきた課題、特に「読むこと」「書くこと」の活動の充実を図ることで、市全体の中学生の英語力の底上げに努めてまいります。</p> <p>また、市独自のチャレンジテストをCBTにより2月に実施し、結果をもとに、各中学校は学力向上に取り組んでいます。</p>		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-05	2211-20	サイエンススクール事業	学校教育課
<p>評価は、「6・コロナによる影響」であり、全くその通りであると理解します。</p> <p>本事業は、小学校4年生時における大変効果的な事業であり、子どもたちの興味・関心を高めるためにも、継続を強く望みます。理科離れが叫ばれる昨今において、加須未来館という素晴らしい施設をぜひ有効に活用していただきたいです。加須未来館学習＝サイエンススクールは、本市教育の特色です。</p> <p>そのために、コロナ時代においても、活用できる手段を検討していただきたいです。例えば、学級単位での利用であれば可能とするなどです。【新井】</p>			
令和4年度 の取組状況等	<p>加須未来館を利用したサイエンススクール事業は、子どもたちの理科への興味・関心を高める非常に重要な事業であるにとらえています。令和2年度、3年度は、緊急事態宣言等に伴うプラネタリウムの入場制限等があり、実施ができませんでした。令和4年度は、3年ぶりに実施することができました。子どもたちは、プラネタリウムや望遠鏡に触れ、目を輝かせておりました。今後は、加須未来館の指導員の学校への派遣等についても検討してまいります。</p>		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-08	2211-32	生徒派遣援助事業	生涯学習部教育総務課
<p>事業の概要は、全国大会に出場する選手の派遣費補助を行うことです。指標が交付件数となっていますが、全国大会に出場できるのは、県大会等を好成績で勝ち抜いた生徒です。交付件数ではなく、そのときの選手の派遣に対する補助の割合とすべきではないでしょうか。当該生徒の交通費、宿泊費、参加費、その他等、全国大会出場に係る費用の援助の割合を指標とすべきではないでしょうか。もちろん、100%が目標値となるでしょう。</p> <p>また、選手とは別に、引率教師の費用の負担はどうなっているのでしょうか。県費出張旅費で賄っているのか。学校や教師個人に負担はないのかも確認したいです。【新井】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>指標については、いただいたご意見を参考に、今後見直しを検討してまいります。</p> <p>引率教師の費用は、埼玉県からの旅費として支払われております。飲食費は個人負担となりますが、引率に伴う旅費の個人負担は生じておりません。</p>		

施策3 教職員の資質能力の向上

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-01	2211-08	学校訪問指導事業	学校教育部学校教育課
<p>評価が「3やや遅れている」とありますが、成果・数値を見ると「6・コロナによる影響」ではないでしょうか。</p> <p>前述したように、学力という点についての捉え方に検討の余地があり、本事業の趣旨は、学力向上に直結する教師の指導力向上については、学校訪問による指導が大変重要です。その訪問指導がコロナにより実施できなかつたと捉えるべきではないでしょうか。</p> <p>幼稚園・学校訪問は、指導主事等の重要な職務と捉えますが、コロナ対応もあり、今後もこれまでと同じような訪問指導は難しいと考えます。令和4年度以降もコロナ対応を検討しつつ、オンラインなどをうまく使って、指導主事の高い知識と技能を活用できることを望みます。実際に、教師の授業を1単位時間参観することは大切なことですが、それができない時代であれば、それなりに訪問事業の在り方を検討すべきではないでしょうか。【新井】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>評価につきましては、その指標である埼玉県学力・学習状況調査の平均正答率及び学校訪問回数から総合的に判断したところでございます。</p> <p>ご指摘のとおり、教師の指導力を向上させるために、学校を訪問し、各校の実態に応じてより具体的に指導することは非常に重要なことであるとと考えております。</p> <p>学校訪問事業は、学校を直接訪問して指導することが重要であると考えております。これまでも規模の縮小や訪問時間の短縮など実施形態等を工夫しながら、学校訪問を実施してきました。そのように直接訪問することを基本としながらも、今後はオンラインを活用する等訪問事業の</p>		

	在り方についても研究していきたいと考えております。
--	---------------------------

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-02	2211-07	学習指導改善研究事業	学校教育部学校教育課

この事業についても、学力の捉え方と指標の関係について、検討が必要ではないかと考えます。加須市として、学力をどう捉えるのか、学力や学力の伸びを何で測るのか、根底を確認したいです。

幼稚園・小中学校の充実した教育実践とは何か、目的とその概要を広く周知したいです。

幼稚園、小中学校における学習指導は、学力向上のみならず、学力を含めた知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成が目的です。そのために、本事業の趣旨である指導改善・研究は、大切なことであると考えます。

指標の数は2つに限定されているのですが、体力を取り入れたのは意義深いです。さらに「徳」をどう評価するのか、検討してほしいです。【新井】

令和4年度の取組状況等	<p>指標の見直しについては、時機を見て、適切に対応していきたいと考えております。また、「徳」の評価についても、併せて検討してまいります。</p> <p>令和4年度、教育課程検討委員会において、加須市独自の「埼玉県学力・学習状況調査分析シート」を作成しました。市で統一した様式を用いることで、各校の強みや課題について、全職員で共有し、統一した方向で子ども達の指導にあたることがねらいです。各校で活用するよう、校長会や教頭会、また、学校訪問の際に依頼しております。</p> <p>引き続き、子ども達の長所を伸ばし、個性を尊重する教育の充実に努めてまいります。</p>
-------------	--

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-04	2211-16	社会科副読本資料作成事業	学校教育部学校教育課

社会科副読本「かぞ」は、事業目的にあるように郷土「加須市」を愛する児童の育成を目指す重要な教科書と言ってよいものです。作成委員は、市内の経験と力量のある優れた教員が本来業務のほかに時間を費やして、研究し、作成しているということを知らせたいです。3年に1度の改定と言うことも、「生きた教材」として、変化の激しい時代をうまく反映できているものです。

今後の取組にあるように、教師が指導しやすいという点も重要です。児童の評価テストだけでは測れない生きた教材に近いものが副読本であり、よりよい副読本を作成していただきたいです。【新井】

令和4年度の取組状況等	<p>令和4年度は改訂の年であり、最新の加須市の状況やデータを取り入れるため、他課や様々な施設に御協力をいただきながら改訂作業を行っております。急速に変化する時代の中でも、古くから受け継がれる伝統</p>
-------------	--

	<p>や、水と自然が調和した元気都市として、児童に親しまれる教科書の作成に努めてまいります。</p> <p>また、ICT との融合も考え、一人一台学習用端末で教師が QR コードを読み込むことで、大型モニターに掲載写真を大きく映し出すことができる仕組みなど、教師目線でも使いやすく、指導しやすい副読本の作成いたしました。</p>
--	--

施策4 ICTを活用した教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0104-01	2211-09	学校 ICT 教育活用事業	学校教育課
<p>本事業は、コロナ時代において、最重要課題の1つであると捉えています。本市がいち早く一人一台のタブレットや各教室への大型モニタの完備を実現できたことに感謝します。このことにより令和3年度のコロナ対応時においても、登校することが困難な児童生徒が、学習を止めることなく、さらに、友達や教師とタブレットを通してつながることができたという大きな成果につながりました。子どもたちのタブレット活用能力と教師の指導力は、令和3年度において大きな向上を果たしたと言えます。そのことが評価に反映されているのか確認したいです。</p> <p>併せて、2つの指標の割合が、具体的にどのように算出したのかを確認したいです。</p> <p>教職員の情報活用能力を育成するために、学校教育課の指導主事や教育センターの職員による支援や研修、企業の支援員によるサポートは大変効果的でした。</p> <p>今後も、予算も多く必要とする本事業の目的が十分に達成できることは重要です。</p> <p>【新井】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>令和4年度は、学習用端末を更に活用するために、令和3年度に策定した「学習用端末利用規程」を改訂し、学習用端末を日常的に家庭へ持ち帰り、宿題や課題などに取り組めるような仕組みを整えました。児童生徒にとって、学習用端末が「特別なもの」ではなく、文房具のような「当たり前の存在」になるよう、今後も日常的な家庭への持ち帰りを継続するとともに、学習用端末を活用した各教科の課題等についても追求していかなければならないと考えております。児童生徒が生きていく未来の社会は、今後も変化し続けます。先の見えない社会にも対応できる児童生徒の育成を本事業を通して、今後も取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>「ICT を活用して効果的な指導ができる教員の割合」及び「ICT を活用して情報活用能力を発揮できる児童生徒の割合」については、それぞれ自己評価をもとにしたアンケート調査にて数値を算出しております。教員、児童生徒ともに ICT の活用能力は間違いなく向上しておりますが、活用が進むからこそその課題も見えてきております。情報モラルやセキュリティの問題では、今後も学習や研修に努めてまいります。</p>		

施策5 特別支援教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0105-01	2211-14	特別支援教育推進事業	学校教育課
<p>小・中学校において、これまでの知的障害や情緒障害等を支援することだけでなく、通常学級に在籍する発達上の特別な配慮が必要な児童生徒をいかに支援していくのかは、すべての学校において大きな課題となっています。本事業の対象となる児童生徒の範囲を明確にしておきたいと考えます。</p> <p>全国的に、特別支援学校の在籍数も増加傾向にあるとともに、特別支援学級や通級指導教室を希望する児童生徒も増加しています。それだけ、特別支援教育が保護者に受け入れられているということです。</p> <p>特別支援教育を推進する上で、大切なのは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①特別支援教育に対する保護者及び市民の理解促進 ②担当する教師の指導技術等の専門性の向上 ③特別支援教育に係る人的支援（介助員の増加） ④特別支援教育に係る物的支援（教材や施設の充実） <p>などと考えますが、この中で、特に行政として充実してほしいのは③、④です。特別支援学級に在籍する児童生徒数や通級指導教室に通う児童生徒数の増加を考慮して、本事業を推進してほしいです。</p> <p>指標になっている「ことばの教室」は、本市が力を入れている特別支援教育の1つであり、特色ともいえます。ただ、これだけを指標とすることで本事業を評価することができるのか疑問が残ります。</p> <p>さらに、幼稚園における特別支援教育対象の幼児に対する支援は、どのように取り組まれているのか、どの事業によるのかを確認したいです。【新井】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>通常の学級に在籍している発達上の特別な配慮が必要な児童生徒への支援は、大きな課題です。また、特別支援学級や通級指導教室を希望する児童生徒も増加しています。</p> <p>令和4年12月に、本市の特別支援教育の現状と課題を明らかにし、今後の本市における特別支援教育の施策の方向性を定めた「加須市特別支援教育に関する推進計画」を作成しました。本計画をもとに、様々な取組を進めているところです。</p> <p>市立小中学校における、特別支援教育に係る人的支援として、主に、通常の学級に在籍している児童生徒に対して、障がい児介助員を配置し支援しています。</p> <p>特別支援教育に係る物的支援として、特別支援学級及び通級指導教室の設置校に対して、児童生徒数の増加に対して、学級数や新設・増設・既設の種別に応じて、消耗品や備品を購入するための予算を配当しています。</p> <p>指標については、「ことばの教室」に通う、構音障害の児童について、指導が終了した児童の割合を指標としていますが、ことばの教室の機能</p>		

	<p>は通常学級に在籍している児童への支援です。特別支援教育が充実しているかの指標としてふさわしいと考えます。また、障がい児介助員の配置割合を指標としていますが、引き続き、支援を必要とする児童生徒の数により、障がい児介助員の確保に努めて参ります。</p> <p>さらに、幼稚園における特別の支援が必要な幼児への支援は、日常的に行われています。また、特別支援学校のセンター的機能を活用した巡回相談や臨床心理士等の専門家を招いて、保護者への相談支援を行うなど、公立幼稚園管理運営事業により行われています。</p> <p>本事業の対象となる児童の範囲は、市立各小・中学校に在籍している児童生徒です。</p>
--	--

施策7 自立する力の育成

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-04	2211-17	防災教育推進事業	学校教育課
<p>東日本大震災から10年以上が経過し、地震や津波に対する防災教育は改めて重要視しなくてはなりません。特に、異常気象としての集中豪雨や台風の大型化などの風水害に対する防災教育は、本市にとっても喫緊の課題であり、本事業の意義は大きいと考えます。</p> <p>指標になっている「加須市防災教育指導資料」の活用を今後も十分に図っていただきたいです。本資料は、学校及び子どもたちにとって、大変よい資料であると考えます。</p> <p>【新井】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>加須市ではとりわけ風水害に対する防災教育が重要であると考えております。「加須市防災教育指導資料」とともに、「加須市防災ノート」も併せて活用することで、自分の身は自分で守ることのできる児童生徒の育成を図ってまいります。令和4年度は、加須市教育研究会の安全・防災教育部において、「加須市防災ノート活用事例集」を作成し、防災ノートの活用事例を共有しました。</p> <p>また、令和4年度は、「災害時におけるボランティアリーダー研修会」を実施する予定となっておりましたが、新型コロナの感染拡大により中止となってしまいました。</p>		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-10	2211-22	学校グリーンカーテン事業	学校教育課
<p>環境に興味・関心をもっている児童生徒の割合実績（0%）とは。</p> <p>アンケートを実施しなかったのなら同児童生徒の割合は（不明%）ではないでしょうか。</p> <p>更に、何故アンケートを実施しなかったのでしょうか。【小林】</p>			

令和4年度の取組状況等	<p>学校グリーンカーテン事業につきましては、平成22年度より令和元年までの10年間、予算を配当して実施をして参りました。10年間で活動が根付き、学校が、自校の特色を生かし、主体的に取り組んでいける状況ができたと考えております。用具等も整ってきた状況から令和2年度からゼロ予算となっております。</p> <p>コロナ禍ということと学校が主体的に取り組んでいるということから、アンケートの実施は見送って参りました。</p> <p>実績についても、不明とするのが正しい標記でした。</p> <p>グリーンカーテン事業については、環境教育推進等における教育的価値が高いことから、事業としては継続し、必要な支援を行ってまいります。</p>
-------------	---

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-10	2211-22	学校グリーンカーテン事業	学校教育課
<p>まず、評価が「4大幅に遅れている」となっている根拠を明らかにしたいです。</p> <p>アンケートが実施できなかった理由は何でしょうか。実施できないことによって、評価が遅れているということなのでしょう。</p> <p>グリーンカーテンが33校・園で実施できていることを考えると、評価はもう少し良くなるのではないかと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>本事業の目的からすると、グリーンカーテンだけでなく、かなり広範囲にはなるが環境教育を踏まえたSDGsとして改善すべきではないかと考えます。【新井】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>コロナ禍ということと学校が主体的に取り組んでいるということから、アンケートの実施は見送って参りました。アンケートを実施していない状況から、厳しい評価となりました。43校（園）中、33園がグリーンカーテンを実施していたということは、約8割の達成率です。そう考えると、もう少し良い評価でもよかったのかもしれませんが。今後は、指標の見直しを検討するとともに、SDGsを意識した環境教育を推進してまいります。</p>		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-15	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	学校教育課
<p>ふれあい講演会が中止されたのは仕方がないが代替案は。</p> <p>新年度はどうされるのでしょうか。中学生にとって大事なことと考えます。【小林】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>令和3年度は学校から講師を依頼できなかったものの、県の事業に依頼し、起業家をお招きして講演を実施するなど、各校それぞれで工夫して実施しました。今年度は市内で多くの中学校において、「ふれあい講演会」の実施を計画しております。また、各校でふれあい講演会が実施しやすくなるよう、今後は実施可能時期を広げることを計画しております。</p>		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-15	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	学校教育部学校教育課
<p>評価「3 やや遅れている」の理由がよく分かりません。</p> <p>職場体験学習もふれあい講演会も、コロナ対応で実施できていないことが理由であり、中学生や中学校にとっては、それぞれ、最も重要なキャリア教育の1つです。コロナ対応がなければ、必ず実施するものではないかと捉えています。「やや遅れている」という評価は、妥当とは言えないのではないかと考えます。【新井】</p>			
令和4年度 の取組状況等	<p>令和4年度の各種学力・学習状況調査における質問紙項目「将来の夢や目標はありますか」に対する、本市の子ども達の回答状況から、この事業の重要性を改めて感じている次第です。</p> <p>職場体験活動の中止に伴い、各校において、職場の方が学校に来校し講話をいただくなどの代替の活動を行いました。しかしながら、職場体験活動中止、ふれあい講演会については市内全8中学校の内、4校での実施にとどまるなど、思うような活動が実施できなかったことが与えた生徒への影響を鑑み、今回の評価としました。今後は実施時期等も見直し、職場体験学習やふれあい講演会が実施しやすくなるよう、計画をしていきます。</p>		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-16	2211-19	市職員マンパワー活用事業	学校教育部学校教育課
<p>評価「6・コロナによる影響」はよく理解できます。</p> <p>その上で、今後のコロナ時代に対応したマンパワー活用を検討・実施したいものです。ゼロ予算事業ではありますが、学校にとっても、行政にとっても効果が期待できる有効な事業と捉えています。【新井】</p>			
令和4年度 の取組状況等	<p>令和4年度は3回の講師派遣を行いました。各校の教育活動充実のため、教職員及び児童生徒を対象とした研修会や授業への支援は、効果的な取組であったとの報告を受けております。今後も、感染症拡大状況を把握しつつ各学校に活用事例を周知していきます。</p>		

基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	—	学校教育部学校教育課
<p>目標は児童生徒の健全な心の成長であり、児童生徒の自立力（自信や信念など）を鍛えないと大人になって困ることを懸念します。教育センターなどに期待することは必要ですが、「子どもは大人の背を見て育つ」ことも事実であり、家庭教育の課題とも考えます。家庭教育への影響力行使は難題と考えますが、その突破口を開く挑戦も期待したいです。【小林】</p>			

令和4年度の取組状況等	<p>児童生徒の健全な育成の土台となるのは、家庭教育であると考えます。小学校の新入児検診の際には、保護者を対象に家庭教育アドバイザー等が講演を行っており、家庭教育を見直していただくきっかけとなっています。今後も各校において、家庭と連携しながら教育活動が展開できるようにしていきます。</p> <p>また、子どもたちには、行事等を通じて、様々な大人とふれあう経験を設定し、生き方を考える機会を増やしていきたいと考えております。</p>
-------------	--

施策1 いじめ対策の充実

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0201-01	2212-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育課
<p>担当者のご努力に感謝致します。保護者（家族など）の役割も極めて重要な課題と考えます。児童生徒にとっての学校は自信を付ける場と捉えて欲しいと願っています。</p> <p>【小林】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>今後も、子どもたちの健やかな成長のために、学校と保護者が協力できる体制づくりに向けて、引き続き学校を支援してまいります。</p>		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0201-01	2212-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育課
<p>学校現場において、学力向上と並んで重要視している課題が「いじめ」や「不登校」です。</p> <p>不登校については、指標にもありますが、2年度よりも不登校の割合が多くなっているところがあり、評価「3やや遅れている」も仕方ないのかと言えます。しかし、県全体や国全体の数が分かれば、その割合と比較することも必要でしょう。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が少なからず、不登校に影響していると感じています。</p> <p>学校も行政も、不登校問題に全力を尽くしていることを知らせたいのですが・・・。</p> <p>不登校に係る目標としては、新たな不登校の出現を0とすることが現実的ではないかと考えます。このことにより、現状の不登校を改善することに取り組まないということではありません。</p> <p>また、この評価については、いじめについての記載がないことが納得できません。令和2年度と令和3年度のいじめの現状を確認したいし、そのことも評価に反映すべきであろうと考えます。</p> <p>そもそも、いじめも不登校も、学校現場においては生徒指導上の課題ですが、捉え方も対応も全く別のものです。事業の数を増やすことは避けたいですが、本来は、別々の2つの課題を併せた事業になっていると考えます。改善したいです。【新井】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>新型コロナウイルス感染症が、不登校に対して少なからず影響を与えたことは間違いのないと思います。加須市の不登校児童生徒数は、増加傾向</p>		

	<p>向にあり、対策は喫緊の課題です。令和3年度の不登校児童生徒数の割合に注目すると、中学校、小学校ともに全国平均（小：1.3%中：5.0%）よりも低くなっている状況でした。しかしながら、令和4年度12月末までの不登校児童生徒数は、小学校29人、中学校148人となり、特に中学校においては、増加が顕著です。不登校対策としては、今現在、学校に通うことができない児童・生徒に対する支援をすすめるとともに、新たな不登校を生まない支援がとても重要なことだと考えております。学校だけでなく、様々な機関と連携し、個に応じた支援をすすめてまいります。子どもたちの小さな変化に気づく教師の目を鍛えるとともに、子どもたち自身のSOSを発信する力を高めていきたいと考えております。</p> <p>いじめ・不登校対策事業は、生徒指導という観点からとらえたものであり、別々の事業にすることは、慎重に検討していきたいと考えております。また、いじめの記載についても検討してまいります。</p>
--	--

施策2 幼児教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0202-01	2212-02	教育センター運営事業	学校教育部学校教育課
<p>評価「1目標を達成」は素晴らしいです。コロナ時代においても、教育センターの事業内容</p> <p>①不登校問題への対応とした適応指導教室「ピア」の運営 ②教育相談の充実（特別支援教育の相談を含む） ③教職員研修の実施 ④教育センターだよりの発行や教育資料の保管・活用 などを工夫して実施した成果であると捉えます。</p> <p>特に不登校問題に対応する「学習室ピア」の運営や教育相談におけるスクールソーシャルワーカーや福祉の関係機関と連携を図った実績も示せるとよいと考えます。</p> <p>さらに、特別支援教育の推進として、個別の発達検査を実施している点についても感謝します。本市の教育センターの特色の1つであると捉えています。【新井】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>コロナ禍においても、学校と同様に子どもたちの学びを止めないように努めてまいりました。</p> <p>不登校問題への対応とした適応指導教室「ピア」の運営において、これまでの「加須学びサポート『ピア』（通級による指導）」に加え、「加須学びリンク『ピア』（オンラインによる指導）」を令和5年1月よりスタートさせました。教育相談の充実（特別支援教育の相談を含む）、巡回スクールカウンセラーの配置、教育センターだよりの発行や教育資料の保管・活用を充実させ子どもたちや先生方を支援してまいります。教職員研修では、不登校問題解消のための研修を重点的に実施できるように改善を行います。</p>		

	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの支援状況については、実績の公表の仕方を検討してまいります。
--	--

施策3 学校等における人権教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0203-01	2513-03	集会所管理運営事業	生涯学習部生涯学習課
<p>小中学生学級や成人学級など、新型コロナウイルス感染症の対応として実施できなかったことから、評価「6・コロナによる影響」は理解できます。</p> <p>今後は、コロナ時代を受けた集会所運営を検討し、実施していくことが重要ではないでしょうか。【新井】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>コロナ時代における安心安全な取り組み、現代の状況に合う多様性、必要なものを再度確認し、引き続き魅力ある集会所運営を行ってまいります。</p>		

基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します	学校教育部学校教育課
<p>学校給食及び健康診断については十分に配慮された実践がなされていると思います。ここでの課題は「健やかな体の育成」ではないでしょうか。コロナ禍の悪条件下では特に工夫された実践が（体力テストの結果も参考に）必要に思います。【小林】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>加須市小・中学校児童生徒体力向上推進委員会にて、体育授業の充実と家庭との連携等を含めた運動の日常化について協議を進めたところです。今後、各校の取組と成果をまとめ、よい取組を市内全校に広めたり、栄養教諭を各校に派遣したりするなど、児童生徒の健やかな体の育成に努めてまいります。</p>		

施策1 安全・安心な給食の提供

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0301-01	2213-01	給食センター管理運営事業	学校教育部学校給食課
<p>児童生徒に、安全安心でおいしい給食を提供していることに感謝します。事故なく提供できている点は、当たり前と片付けてしまいがちですが、このことは大きな成果であると捉えます。</p> <p>さらに、給食センターが、毎学期ごとに、児童生徒に給食に関するアンケートを実施し、学校栄養士を中心として、給食の改善に日々取り組んでいることにも、ぜひ、目を向けたいです。</p>			

令和3年度は、コロナ対応を受けた児童生徒の登校状況も非常に複雑でした。給食費を無償とする月を設けたり、感染・濃厚接触児童生徒の給食費を徴収しなかったり、給食の対応を臨機応変に対応していただいた事に学校としては大変ありがたいと感じています。保護者も同じでしょう。

給食食材の値上がりもあり、給食費を値上げせずに対応している御苦労にも改めて感謝します。【新井】

令和4年度の取組状況等	<p>国が創設した新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、電力・ガス・食料品等価格の物価高騰の影響を大きく受けた子育て世帯に対し、就学前の子どもに「ちょこっとおたすけ絆サポート券」を配布するとともに、市立小・中学校に通う児童・生徒の学校給食費相当分（令和4年11月分から令和5年3月分まで）を一時的に免除し、支援を行いました。</p> <p>また、コロナ禍等における物価高騰により、学校給食の食材価格への影響が出ている中、学校給食費の保護者負担を増やすことなく、引き続き、給食の質や量を維持できるよう、栄養バランスに配慮しながら献立や食材を工夫しました。さらに、多くの地場産野菜をさらに活用するため、学校給食における地場産野菜の購入費を支援し、安全・安心な給食の提供に努めました。</p>
-------------	--

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0301-02	2213-06	給食費収納対策事業	学校教育部学校給食課
<p>現年度収納率99.98%は、保護者、学校、行政の協力した成果です。</p> <p>令和2年度の収納率99.93%も素晴らしいですが、回収できなかった給食費は実際にいくらで、回収に至ったのかを確認したいです。また、過去の未回収分の給食費についても確認したいです。【新井】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>令和4年5月31日現在、令和3年度未納分は、29件、95,312円でしたが、令和4年8月29日で完納となりました。</p> <p>また、令和2年度までは未納0となっております。</p> <p>令和3年度以前の過去の未回収分の給食費はなく、未納はありません。</p>		

施策3 健康の保持増進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0303-01	2213-02	小学校健康推進事業	学校教育部学校教育課
0303-02	2213-03	中学校健康推進事業	
<p>歯磨き指導など子どもの内からの習慣化が大切と思います。今後も継続して頂きたいです。【小林】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>歯磨き指導を含めた歯予防の取組については、市立各小・中学校の養護教諭を中心に全ての学校で取り組んでおり、各校で工夫して歯磨き指導を行っております。家庭との連携も図りながら、歯磨きが習慣化で</p>		

	きるよう、引き続き取り組むよう指導してまいります。
--	---------------------------

基本目標 4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	—	生涯学習部教育総務課
<p>「質の高い教育」とは何かを自問してみましたが、難しいテーマであり工夫を要する課題と思いました。予算額的には施設整備費が高額となるので適切な遂行を期待します。</p> <p>【小林】</p>			
令和4年度の取組状況等	加須市学校施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の計画的な改修を行い、安全で快適な教育環境の整備、充実を図ります。		

施策 1 安全で安心な教育環境の整備

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0401-01	2214-01	小学校管理運営事業	生涯学習部教育総務課
0401-02	2214-02	中学校管理運営事業	
<p>小中学校の備品、消耗品などの購入費の予算措置、執行など、評価「2・概ね達成」は、十分であると捉えます。むしろ、「目標を達成」でもよいのではないのでしょうか。</p> <p>指標が、図書整備率となっていますが、これも、ほとんどの学校で整備できていると言ってよい値ではないのでしょうか。さらに、今後の学校図書館が電子化による管理を目指しているのか、検討しているのかを確認したいです。</p> <p>また、執行率が100%ではない理由を伺いたいです。【新井】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>小学校管理運営事業、中学校管理運営事業ともに、指標を図書整備率としています。評価は、市の計画で統一的に、指標の目標値に対する割合で判断するため、その基準に基づき「概ね達成」となっています。</p> <p>各学校での図書は、購入だけではなく古い図書の廃棄も行っております。令和4年度は、小学校2校、中学校1校で図書の整理に伴う廃棄により、図書整備率が100%を下回ったことから「概ね達成」となりました。</p> <p>次に、学校図書館の電子化は、各学校の判断により3分の1程度の学校が導入しており、紙で管理している学校も3分の2程度あるのが現状です。導入や維持管理費用がかかることや紙管理の方が効率が良い学校もあることから、現在のところ電子化による管理は検討しておりません。</p> <p>次に、執行率が100%とならなかった理由の大きなものは、令和3年度末に発生した灯油流出事故を受けた調査費や工事費の執行残が発生したこと及び電気料が見込みを下回ったことによるものです。</p>		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0401-07	2214-04	小学校施設整備事業	生涯学習部教育総務課
0401-08	2214-05	中学校施設整備事業	
<p>小・中学校の施設・設備の整備について、安心・安全という点でも評価「1・目標を達成」は感謝します。</p> <p>その中で、執行率17%、18%の理由（繰り越しになった理由）を伺いたいです。</p> <p>指標である大規模改造工事実施率については、長期的な展望をもって、計画・執行されていることが理解できました。【新井】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>小学校施設整備事業予算額の7割を占める不動岡小学校校舎大規模改造工事は、令和3年9月1日に文部科学大臣から令和3年度学校施設環境改善交付金の交付決定を受けたため、令和3年第4回定例会において補正予算を措置しました。令和4年度の工事を前倒しして、契約手続や工事を進めたものの、工事の完了は令和4年度になるため繰越をしました。</p> <p>また、小学校施設整備事業及び中学校施設整備事業のトイレ洋式化改修工事は新型コロナウイルス感染症対策として令和3年第2回定例会において補正予算を措置しました。令和3年度に設計及び一部の小学校の工事を完了したものの、工事が完了しなかった部分について繰越をしました。</p> <p>さらに、小学校施設整備事業及び中学校施設整備事業のトイレ手洗い自動水栓化工事は新型コロナウイルス感染症対策として令和4年第1回定例会において補正予算を措置しました。年度末までの短い期間では設計、工事ともに令和3年度に完了しないため繰越をしました。</p>		

基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む 取組を推進します	生涯学習部生涯学習課
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で活動が停滞し残念に思います。その中でも成功した具体例などを共有しては如何でしょうか。【小林】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>イベント等における新型コロナウイルス感染症の対応も変化しているため、他の事業にて成功した開催運営方法などを共有し、事業の推進に努めてまいります。</p>		

施策1 学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-01	2215-01	学校いきいきステーション事業	学校教育課
<p>加須市は、埼玉県の学校応援団の発祥の地です。幼稚園・学校・家庭・地域が一体となって、子どもの支援、教育活動の支援をすることが本事業の目的と捉えています。</p> <p>その中で、幼稚園・学校応援団の登録者数の減少という課題は、今後の展望という点で、重要かと考えますが、そのことで各学校が支障を感じているのでしょうか。登録者数は本事業の一部であり、実際に子どもたちの健全育成に学校応援団がどう関わったかによって評価となるのではないのでしょうか。各学校の実情と併せて今後の事業の方針を検討すべきと考えます。</p> <p>いずれにしても、新型コロナウイルス感染症の影響で、応援団の幼稚園・学校への直接的な来校や活動等が制限されているところもあります。子どもたちの登下校を見守る応援団（交通指導員を含む）、実際に教師の片腕となって学習や遊びの支援を行う応援団、草取りや施設設備の修繕等を行う応援団、その他幼稚園・学校の実情に応じて、協力をいただいている地域の皆様に深く感謝します。【新井】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>学校応援団は、学校の活動を支えてくださる非常に大きな存在です。その活動は多岐にわたり、登下校の見守り、環境整備、学習支援、読み聞かせ、部活動指導等があります。</p> <p>まさに幼稚園、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちを育てる代表的な事業です。</p> <p>近年は、学校応援団の方の高齢化に伴い、お辞めになる方が多くなっております。登録者数が減少するのはやむを得ないと考えますが、今後の継続を考えた時には、各学校の実態に応じた応援団の募集は、必要であると考えています。</p> <p>ご意見としていただきました子どもたちの健全育成と学校応援団のかかわりについての評価については、今後、検討してまいります。</p>		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-03	2215-06	あいさつふれあい推進事業	学校教育課
<p>その他の事業において、「6・コロナによる影響」が大きいという結果が多い中であって、本事業が「あいさつふれあい」の大切さを各学校が十分に理解し、実施している点が素晴らしいと考えます。コロナ時代においても、やらなくてはならないことをしっかり実施した証です。</p> <p>その中で、児童・生徒のアンケート結果も令和2年度と比較するとほぼ同じ結果とすることもできます。評価「2・概ね達成」は妥当であると感じます。</p> <p>幼稚園・学校によっては、コロナ状況にもよるが、青少年健全育成関係団体の応援もいただいたり、保・幼・小・中が協力したりして、あいさつ運動を実施しているところもあります。</p> <p>駅や街頭での「加須市あいさつ運動」は、コロナ状況を見ながら実施できればよいで</p>			

<p>すが、まずは、各学校が実情に応じてあいさつ運動を実施することが大切であり、工夫して実施できるとよいと考えます。【新井】</p>	
<p>令和4年度の取組状況等</p>	<p>令和2年度から令和4年度（本年度）においては、コロナ禍ということもあり、感染症対策を実施したうえで各園・各校においてあいさつ運動に取り組んでいます。その成果もあって、コロナ禍においても地域の人にあいさつをしている児童生徒の割合は、わずかの減少にとどまっています。</p> <p>本年度、駅の街頭における「加須市あいさつ運動」のキャンペーンの実施はできませんでしたが、「第42回加須地域市民まつり」においては、青少年健全育成団体の協力をいただき、あいさつ運動の啓発をすることができました。</p> <p>今後は、引き続き各園・各校でのあいさつ運動の実施をお願いするとともに、新型コロナウイルスの感染状況を見ながらキャンペーンを実施し、学校だけでなく加須市全体としてあいさつ運動を盛り上げていきたいと考えています。令和5年度に、街頭キャンペーンを計画しています。</p>

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-09	2215-08	通学路安全対策事業	学校教育課
<p>通学路安全点検や報告に基づいた危険個所の点検を踏まえての安全対策に感謝致します。同時に、交通安全指導員や登下校見守りをされた保護者や教師の方々にも感謝致します。【小林】</p>			
<p>令和4年度の取組状況等</p>	<p>「安心、安全なまちづくり」は本市の重要課題であります。今後も引き続き、通学路安全対策事業を活用し、子どもたちが安全に、安心して登下校できるように努めてまいります。</p>		

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-09	2215-08	通学路安全対策事業	学校教育課
<p>全国で子どもたちを巻き込んだ交通事故が多発しています。本事業は、子どもたちの安心・安全に直結した通学路の整備が主たる目的となっています。</p> <p>まず、評価「1・目標を達成」は大きな成果であると言えます。各学校は、千葉県の事故を受け、通学路の総点検を再度行って、改善要望を出しました。その対応が100%であることに安心しました。</p> <p>確認したい点として、予算に対する執行率が8%となっていることはどういうことでしょうか。【新井】</p>			
<p>令和4年度の取組状況等</p>	<p>令和3年度は、当初予算に加え、補正予算をとって対応した箇所がありました。補正予算の額が大きかったことと、年度内にすべての工事等が終わらなかったこともあり、繰越となったため、予算の執行率が低くなりました。</p>		

	なお、繰越となった工事については、令和5年度中にすべて終了しました。
--	------------------------------------

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	—	生涯学習部生涯学習課
<p>学びや芸術・文化に対する興味関心は個人差があるので、引き続いて広い分野の活動（活動内容、サークルなど）紹介を期待します。生涯学習コンテストの拡大はどうか。【小林】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>生涯学習コンテストの拡大については、毎年12月に生涯学習市民企画委員と協働で『生涯学習フェスティバル』を開催しております。ここでは、セミナー受講生の作品展示や市民団体のパフォーマンス発表・サークル紹介など学習のきっかけづくり及び成果披露、また市民の交流を深める場となっております。</p>		

施策1 生涯学習活動の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0601-02	2311-02	生涯学習推進計画進行管理事業	生涯学習部生涯学習課
<p>事務事業達成度における「概ね順調」「達成済」の割合（％）について。前年度実績が100％にも拘らず7年度まで目標が95（％）なのは何故でしょうか。【小林】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>95％は、計画を遂行するための妥当性のある目標値として設定しております。</p>		

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくれます

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
—	—	—	生涯学習部スポーツ振興課
<p>スポーツ・レクリエーションの普及には指導者に寄与することが大きいと思います。技術力向上や体力増進などの効果に限らず、人的交流や地域まちづくりの基盤ともなると考えます。高齢化に伴い一人でも出来るスポーツが年々重要となっていると思います。【小林】</p>			

令和4年度の取組状況等	ウォーキングなどの一人で可能なスポーツから、スケートボードなどの一人でも参加できる教室を開催し、引き続き多くの市民がスポーツに親しむことができるよう取り組んでまいります。
-------------	---

その他

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
-	-	-	生涯学習部生涯学習課 生涯学習部図書館課 生涯学習部スポーツ振興課
<p>生涯学習課、図書館課、スポーツ振興課が所掌する事業については、評価「6・コロナによる影響」が多くなっています。これは、納得できる評価ではありますが、今後のことを考慮して、コロナ時代にどう対応するか事業ごとに検討すべきであろうと考えます。</p> <p>そのような中でも、評価「1・目標を達成」「2・概ね達成」となっている事業については、大変な苦勞をされての結果であると推察します。感謝します。</p> <p>特に、「市民カレッジ事業」「加須インターネット博物館管理運営事業」「図書館管理運営事業」「グラウンドゴルフ推進事業」「オリンピック・パラリンピック関連事業」などは、コロナに対応して工夫された結果が、指標の値にも表れていると捉えています。素晴らしいです。【新井】</p>			
令和4年度の取組状況等	<p>【生涯学習課】 新型コロナウイルス感染症感染予防対策に係るイベント等の開催にあたっての方針が変化しているため、状況に応じた感染予防対策を図るとともに、事業の見直しを検討するなど生涯学習事業の推進に努めてまいります。</p> <p>【図書館課】 図書館管理運営事業においては引き続き安全対策を十分に行い事業を継続してまいりました。他の事業も市民のみなさまに読書の素晴らしさを提供できるよう努めましてまいりました。</p> <p>【スポーツ振興課】 新型コロナウイルス感染拡大防止策として、規模の縮小などにより大会運営をしましてまいりました。今後も、大会運営を工夫して多くの市民がスポーツに親しめるよう取り組んでまいります。</p>		

6 学識経験者の意見

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項」の規定に基づき、教育に関する学識経験を有する方の知見を活用するため、令和4年度の取組状況について、元大桑小学校校長新井信男氏及び平成国際大学特任教授荻原孝之氏からご意見をいただきました。

(1) 新井信男氏

① 報告書全体に対する総括的な意見等

全体的に、加須市人づくりプランに位置付けられている全93事業・110指標について、加須市教育委員会事務局各課が加須やぐるまマネジメントシステムに従って、大変よく取り組んでいることが分かり、御尽力に敬意を表します。

特に各事業の指標については、なかなか数値化することが難しい教育の分野においても、数値目標を設定し、それに対する取組内容や評価に対する分析が具体的に記載されており、概ね納得できる報告であると感じています。

令和3年度は、「コロナによる影響」として38事業を除外したことを踏まえると、令和4年度も新型コロナウイルス感染症による影響を受けつつも、「コロナによる影響」という評価除外をしなかったことが、前向きに捉えたことにほかならず、各事業で工夫した取組が積極的に実施されたと評価したいと考えます。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症への対応から、事業の取組も十分にできなかったところが多くあったことから、各課においては非常に御苦労が大きかったと想像できます。そして、令和3年度までの反省を受けて、できるだけ対応が見られ、コロナ時代として、また、アフターコロナ時代として、どうしていくかという姿勢が感じられます。今後も新型コロナウイルスに限らずさまざまな感染症や災害など緊急事態に応じた事業の取組について、先を見て、あらかじめ予見しておくことが求められると考えます。

また一方で、各事業のうち、いくつかについては目的とその指標を検討すべきかと考えます。評価がすべてではありませんが、成果指標に向けて具体的に取り組み、その結果によって、評価が決定され、次への改善とするマネジメントサイクルにおいては目的と指標の検討は重要であると思われまます。その事業が本来目的とすることに対して、何を指標とすべきかという点で再考いただきたいと感じます。

いずれにしても、令和4年度の点検評価も大切ではあるが、そのことをどのように今後に生かすかが重要であり、評価のみに一喜一憂することなく、教育委員会事務局として加須市の子どもたちの将来を考えて、具体的かつ効果的な取組を着実に実践されることを望みます。

② 各事業についての意見・感想

基本目標 7 つの到達度評価の状況についても、自ら、あえて厳しい評価とすることにより、今後の改善や取組内容を具体的に考え、実施しようとする高い意識であると捉えることができます。

基本目標の取組状況には、成果と課題について、新型コロナウイルス感染症対応への苦労も含めて記載されており、十分に理解できます。

基本目標 1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

I C T教育の推進について、大変積極的な取組に感謝申し上げます。

8校の学校研究指定、オンラインミニ講座「加須学びD X」、「加須市チャレンジシート」のC B Tでの実施など、効果的であったと思われます。これらの具体的な成果が各事業の指標や評価などに反映できるとさらによいと考えます。

また、人的な支援については、子どもたちのきめ細かな指導が可能となり、教師にとっては学校における働き方改革につながる重要な課題です。教育活動補助員の授業実施、非常勤講師やA F T及びA L Tの配置は、人材不足もあって非常に困難ではあると思いますが、100%配置を目指して、ぜひ、御尽力いただきたいと思います。

施策 1 幼児教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0101-02	2131-16	幼稚園預かり保育事業	こども局こども保育課
<p>加須市の幼児教育・市立幼稚園は、埼玉県内はもとより全国に誇れるものです。日頃の幼稚園における保育は、先生方が大変よく工夫しており、それによって、保護者からの信頼も大きいと捉えています。</p> <p>本事業の預かり保育については、コロナ時代において、保護者のニーズが高まっているなかで、各園が工夫して、預かり保育を実施できたと言えます。希望者がいれば100%開設し、実施することは大変重要であると言えます。</p>			

施策 2 一人ひとりを伸ばす教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-01	2211-05	少人数学級推進事業	学校教育部学校教育課
<p>本事業の指標は、人的な配置状況です。「学校における働き方改革」が推進されるなか、現場で働く教員一人一人の働き方を改革するには、業務量の削減を抜きに語れないと感じています。そのための人的配置は最も効果的な方策であると考えます。</p> <p>このような中、教育活動補助員は、教員免許状を有し、経験豊富な教員であることが多く、学校にとっては大きな戦力であり、それは、子どもたちに大きな利益となります。予算確保と共に、優秀な人材を適材適所に配置できる重要な事業であり、拡大を強く望むところです。</p>			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-05	2211-20	サイエンススクール事業	学校教育部学校教育課
<p>まず、新型コロナウイルス感染症による影響があり 3 年ぶりの未来館学習の再開を喜びたいと感じます。</p> <p>本事業は、小学校 4 年生時における大変効果的な事業であり、子どもたちの興味・関心を高めるためにも、継続を強く望みます。理科離れが叫ばれる昨今において、加須未来館という素晴らしい施設をぜひ有効に活用していただきたいと感じます。加須未来館学習=サイエンススクールは、全国に誇る本市教育の特色です。</p> <p>ぜひとも、すべての子どもたちが未来館を利用したことがあり、リピーターとなっていたいただきたいと感じます。</p>			

施策 3 教職員の資質能力の向上

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-01	2211-08	学校訪問指導事業	学校教育部学校教育課
<p>本事業の趣旨は、学力向上に直結する教師の指導力向上であり、学校訪問による指導は大変重要です。その訪問指導がこれまで新型コロナウイルス感染症により実施できなかったことを改善し、きめ細かな指導助言にあたることができたととることができ、大変素晴らしいと感じます。</p> <p>幼稚園・学校訪問は、指導主事等の重要な職務と捉えています。新型コロナウイルス感染症対応をよい経験として、今後も訪問指導を工夫していただきたいと思います。</p> <p>具体的には、すでに実施されているかもしれませんが、オンラインなどをうまく使って、指導主事の高い知識と技能を活用できるのではないのでしょうか。</p> <p>実際に、教師の授業を 1 単位時間参観することは大切なことですが、それができなくても、教師の指導力向上につながる訪問指導事業の在り方を工夫・検討していただきたいと思います。</p>			

施策 4 ICT を活用した教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0104-01	2211-09	学校 ICT 教育活用事業	学校教育部学校教育課
<p>本事業は、本市の最重要課題の 1 つであると捉えています。G I G A スクール構想と相まって、コロナ時代において、大きな成果を発揮できたと感じています。</p> <p>また、今後も学校教育においても重要な役割を担う事業となります。その事業において、目標を達成できていることは、所管課の御尽力に感謝したいと思います。</p> <p>教職員の情報活用能力を育成するために、学校教育課の指導主事や教育センターの職員による支援や研修、企業の支援員によるサポートは大変効果的でした。</p> <p>今後も、予算も多く必要とする本事業の目的が十分に達成できることが重要であると考えます。</p>			

施策6 学びを支える経済支援

プランCD	総振CD	事務事業名	所管課
0106-03	2211-27	河野博士育英事業	学校教育部学校教育課
新規採用数15人に対して、実績15人、100%達成は素晴らしいと感じます。 本事業については、広く生徒への周知が重要と考えます。中学校を通して、必要とする生徒に給与できるように続けてほしいと願います。			

施策7 自立する力の育成

プランCD	総振CD	事務事業名	所管課
0107-15	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	学校教育部学校教育課
評価「やや遅れている」は、評価としてはやむを得ないでしょう。実際は、新型コロナウイルス感染症対応で、職場体験学習もふれあい講演会も、十分に実施できなかったことが理由と考えます。 中学生や中学校にとっては、それぞれ、最も重要なキャリア教育の1つです。新型コロナウイルス感染症対応がなければ、必ず実施するものではないかと捉えています。			

プランCD	総振CD	事務事業名	所管課
0107-16	2211-19	市職員マンパワー活用事業	学校教育部学校教育課
評価「大幅に遅れている」は、新型コロナウイルス感染症対応によるものであり、理解できます。 そのうえで、今後のコロナ時代に対応したマンパワー活用を検討・実施したいものです。 ゼロ予算事業ではありますが、学校にとっても、行政にとっても効果が期待できる有効な事業と捉えています。積極的に各学校にPRして、事業の活用を図ってほしいと願います。			

基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します

学力向上と並んで、いじめ・不登校の問題は、学校教育のみならず社会全体でも大きな注目を受けています。各学校の御努力、加須市立教育センターを核とした御指導に感謝します。

不登校の子どもたちの学校復帰に向けた「学習室ピア」の役割は大変大きいものがあります。

いじめについては、認知件数にとらわれることなく、早期発見及び早期解消が重要かと思えます。いじめについても、事業や指標の中で評価できるようにしていただけたらよいかと思えます。

新型コロナウイルス感染症は、不登校についても大きな影響を及ぼしています。在家

庭の期間が長くなった子どもでも安心して登校できるよう、一人一人の子どもに寄り添った支援をお願いしたいと思います。

施策 1 いじめ対策の充実

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0201-01	2212-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育部学校教育課
<p>学校現場において、学力向上と並んで重要視している課題が「いじめ」や「不登校」です。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響は、大きく不登校に影響していると言えます。</p> <p>教育センターとの連携において、学校復帰を果たした児童生徒の数や効果的な指導法を周知したり広めたりすることのほうが重要であると捉えますがいかがでしょうか。</p> <p>また、この事業の評価指標について、いじめについての記載がないことがよく分かりません。令和3年度と令和4年度のいじめの現状を確認したいし、そのことも評価に反映すべきであろうと考えます。いじめの認知数と解決数は重要な教育課題の1つであると考えます。</p>			

基本目標 3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

物価高の折、給食費の値上げをせずに、安全・安心でおいしい給食を提供していただき、感謝申し上げます。

そのうえに、保護者の経済的負担を考慮した一時的な免除は、行政の御努力であるとお礼申し上げます。

給食費収納率 99.99%も、保護者、学校、行政が一体となった成果と捉えております。

施策 1 安全・安心な給食の提供

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0301-01	2213-01	給食センター管理運営事業	学校教育部学校給食課
<p>児童生徒に、安全・安心でおいしい給食を提供していることに感謝したいと思います。</p> <p>事故なく提供できている点は、当たり前とかがたづけてしまいがちですが、このことは大きな成果であると捉えています。</p> <p>さらに、給食センターが学期ごとに、児童生徒に給食に関するアンケートを実施し、学校栄養士を中心として、給食の改善に日々取り組んでいることにも、ぜひ、目を向けたいと思います。</p> <p>令和4年度は、給食費の一時免除期間を設けるなど、保護者は経済的にとてもありがたかったに違いありません。</p> <p>給食食材の高騰にもかかわらず、給食費を値上げせずに対応している御苦勞にも改めて感謝したいと思います。</p>			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0301-02	2213-06	給食費収納対策事業	学校教育部学校給食課
現年度収納率 99.99% は、保護者、学校、行政の協力した成果であると思います。令和3年度の収納率 99.98% も素晴らしいですが、それを上回った実績です。			

基本目標 4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

トイレの改修、不動岡小の大規模改修、ICT支援員の配置など環境面の支援について、感謝申し上げます。

市立幼稚園につきましては、補助員の配置など業務改善に取り組んでいることが理解できました。

施策 1 安全で安心な教育環境の整備

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0401-03	2141-01	公立幼稚園管理運営事業	こども局こども保育課
実績値で目標を上回ったことに、現場の幼稚園やこども保育課の御努力に感謝申し上げます。			

基本目標 5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

達成度評価が「達成できなかった」となっていますが、新型コロナウイルス感染症による影響と考えます。

あいさつ運動につきましては、駅での活動などが新型コロナウイルス感染症対応で難しい中、各学校や園で実情に応じた取組が実践されたことをうれしく思います。

施策 1 学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-02	2215-02	地域密着型教育広報事業	学校教育部学校教育課
パネル公開について、今後も、十分に実施していただき、学校等の情報を広く市民や地域に周知することは重要であると捉えています。			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-03	2215-06	あいさつふれあい推進事業	学校教育部学校教育課
新型コロナウイルス感染症による影響が大きいというなかで、本事業が「あいさつふれあい」の大切さを各学校が十分に理解し、工夫して各幼稚園・学校で実施されている点が			

素晴らしいと考えます。コロナ時代においても、やらなくてはならないことをしっかり実施したということです。

令和3年度は、幼稚園・学校によって、青少年健全育成関係団体の応援もいただいたり、保・幼・小・中が協力したりして、あいさつ運動を実施しているところもありましたが、令和4年度も同様と思われまます。

駅や街頭での「加須市あいさつ運動」は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら実施できればよいので、まずは、各幼稚園・学校が、実情に応じてあいさつ運動を実施することが大切であり、工夫して実施できたとすれば、素晴らしいと考えます。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0501-09	2215-08	通学路安全対策事業	学校教育部学校教育課
<p>全国で、子どもたちが巻き込まれた交通事故が多発しています。本事業は、子どもたちの安心・安全に直結した通学路の整備が主たる目的となっています。</p> <p>まず、令和4年度も「目標を達成」は大きな成果であると言えます。令和3年度、各学校は、千葉県の事故を受け、通学路の総点検を再度行って、改善要望を出しました。その対応が100%でした。令和4年度も100という実績（改善要望に100%対応できた）は満足できると思います。</p> <p>執行率99%も充実した事業の証と捉えることができます。ありがとうございました。</p>			

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

達成度評価「達成できなかった」となっていますが、新型コロナウイルス感染症による影響であり理解できます。

各事業の実績をみると、目標値には及ばないために、評価が「やや遅れている」「大幅に遅れている」になってしまっていますが、令和3年度の実績と比べて、2倍あるいはそれ以上という事業も多くなっています。令和3年度「0」だったものが、実績を上げている事業もあります。御努力に敬意を表したいと思います。

引き続き、新型コロナウイルス感染症対策など、非常時を想定して、開催方法を工夫するなど芸術・文化の振興を図っていただきたいと思います。

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくれます

達成度評価「やや達成できなかった」とありますが、新型コロナウイルス感染症による影響と考え、理解できます。

加須こいのぼりマラソン大会の3年ぶりの開催に合わせて、個人的ではありますが、初のハーフエントリー、完走という思い出をつくることができ、感謝しております。私自身、運営に携わったことはありますが、参加者としては初めてでした。スタッフ、関係職員、ボランティアの皆様には当日の運営はもちろん、計画段階から後片付けまで大

変だったろうなと思いますし、感謝でいっぱいです。沿道の応援の皆様にも温かな声援をいただき、力となりました。

参加した多くの皆さんが自分と同様の感想をもっていると思います。

今後も、全国規模の大会を含め、元気な市民と活力ある加須市の創造に向けて、御尽力くださいますよう、よろしく申し上げます。

(2) 荻原孝之氏

① 報告書全体に対する総括的な意見等

「その他の教育事業」の「加須市人づくりプラン進行管理事業」の評価で、「令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった事業を除いて評価し、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものも含めて評価したため、実績値が前年度よりも低くなった。」と総括されています。特に、基本目標5・6・7にあげられている事業は、まだまだ、新型コロナウイルス感染症の影響が残っていることがわかります。新型コロナウイルス感染症の感染症法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）上の位置づけは、「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」から、「5類感染症」になりましたが、感染が完全に治まったわけではなく、流行の第9波の最中であるとの指摘もあります。今後も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながらの事業の進行に期待します。

また、各事業への意見、感想の中でも述べさせていただきましたが、事業に対する指標に疑問が残るものがいくつかあります。改善できるところから改善して欲しいと思います。

② 各事業についての意見・感想

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

施策1 幼児教育の推進

プランCD	総振CD	事務事業名	所管課
0101-02	2131-16	幼稚園預かり保育事業	こども局こども保育課
<p>他市在住の私の目から見ても加須市の公立幼稚園は、全国に誇れる教育をしていると考えます。さらに、子育て支援として預かり保育を実施し、希望者全員の預かり保育を実施したことは、本当に素晴らしいことです。</p> <p>この指標ではわかりませんが、この事業のために各幼稚園の教諭に対する負担が増加していることはないのでしょうか。益々多様化するであろう保護者のニーズに対応するためにも、今後、保育士を安定的に確保するなど、預かり保育職員が安心して働ける環境づくりにも配慮していただきたいです。</p>			

施策2 一人ひとりを伸ばす教育の推進

プランCD	総振CD	事務事業名	所管課
0102-01	2211-05	少人数学級推進事業	学校教育課
<p>「学校における働き方改革」を推進するためのもっとも効果的な方策は、人的配置であると考えます。ティームティーチングや少人数指導を行うことで個に応じた指導や生徒指導の充実も図れます。今後、この事業も含めた人的配置を伴う事業の拡大を強く望みます。</p>			

す。

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-05	2211-20	サイエンススクール事業	学校教育部学校教育課
<p>加須未来館におけるサイエンススクールは本市独自の理科教育として高く評価しています。事業実施後のアンケート調査において、理科への興味・関心を持った児童の割合が目標値を下回ったことから「やや遅れている」と評価したということですが、新型コロナウイルス感染症による影響で開催されなかった事業が3年ぶりに再開できたことを大いに評価したいと思います。</p>			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0102-08	2211-32	生徒派遣援助事業	生涯学習部教育総務課
<p>交付件数が目標値を下回ったことから「やや遅れている」と評価したとありますが、関東大会、全国大会の出場件数を目標に設定していることがおかしいと思います。関東大会、全国大会はそれぞれ厳しい予選があるためなかなか出場できないのが現状です。出場した29人に対し、自己負担が生じないよう派遣費が規定通り補助できたのであれば、「目標を達成」の評価で良いのではないかと考えます。</p>			

施策3 教職員の資質能力の向上

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0103-03	2211-15	教師用教科書・指導書措置事業	学校教育部学校教育課
<p>教師用教科書・指導書は、特に若い年代の教員にとって必要不可欠な物であると考えます。学級の増設や教員の増員で必要となった教師用教科書・指導書が直ちに100%配布されたことは、当たり前のことのようですが、素晴らしいことだと考えます。</p>			

施策4 ICTを活用した教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0104-01	2211-09	学校ICT教育活用事業	学校教育部学校教育課
<p>「学校における働き方改革」を推進するための効果的な方策のひとつとして、ICTを活用した校務の効率化は不可欠であると考えます。その目標が「概ね達成」できたことは素晴らしいことです。この事業の一層の充実を強く望みます。</p> <p>一方、教員及び児童生徒に配布されている端末に、不具合が発生したり、修理等が必要になったりした場合の対応についてはどのようになっているのでしょうか。特に、児童生徒に配布されている端末の管理等が担任等に任せられているようなことがあるとすれば、「学校における働き方改革」の足かせになるのではないのでしょうか。</p>			

施策5 特別支援教育の推進

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0105-01	2211-14	特別支援教育推進事業	学校教育部学校教育課
<p>構音障害の令和4年度当初開始児童数が61名、正しく発音できるようになり修了した児童が35名（目標値の65%）であり、「やや遅れている」との評価です。修了しなかった児童のその後の学校での生活への配慮や、この事業を活用・継続した指導がどのようになされているのでしょうか。構音障害があると話の内容が相手に伝わりにくかったり、相手が話し手の音に不自然さを感じてしまい、コミュニケーションに支障をきたすことがあると理解しています。それが原因で「いじめ」の対象になるようなことがあれば憂慮すべき事態です。</p> <p>別の視点ですが、特別な支援が必要な児童生徒が増加傾向にあると認識しています。特別支援教育を推進するにあたり、学校への人的支援や物的支援は必要不可欠です。加須市教育委員会としての取組はどのようになっているのでしょうか。</p>			

施策7 自立する力の育成

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-10	2211-22	学校グリーンカーテン事業	学校教育部学校教育課
<p>指標が「環境に興味・関心をもっている児童生徒の割合」になっていますが、アンケートを実施せずに、学校ファームでの栽培の実施やグリーンカーテンに取り組んだ学校や園数で評価するのはおかしいのではないかと思います。</p> <p>また、予算措置がない事業のために、学校の負担になっていないか、栽培の実施やグリーンカーテンの実施にあたり一部の教員や管理職の負担になっていないかどうか心配です。</p>			

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0107-15	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	学校教育部学校教育課
<p>「ふれあい講演会」を実施しなかった学校の実施しなかった理由が、「新型コロナウイルス感染拡大防止」のためだったのか少々疑問が残ります。過去の私の経験から、講演者の人選に苦慮していた時期があったからです。もし、そのような理由から、実施しなかった学校があったとすれば、「市職員マンパワー活用事業」などを活用することを提案します。そのためには、市職員が講演者や講師として活用できる内容のリスト等を学校に提供しておくなどの工夫が欲しいと思います。</p>			

基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します

施策1 いじめ対策の充実

プランCD	総振CD	事務事業名	所管課
0201-01	2212-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育部学校教育課
<p>事業名が「いじめ・不登校対策事業」であるのに、指標が「不登校児童・生徒の割合」だけであるのは違和感があります。「いじめの実態等」の指標が必要ではないでしょうか。</p> <p>「コロナ禍を経て、児童生徒、保護者の学校を休むことへの意識が変化している・・・」と記載されていますが、どのような変化なのでしょう。大変気になるところです。教育基本法第2条「教育の目標」、学校教育法第21条「普通教育の目標」を達成するためには、学校という社会の中で児童生徒が生活することが基本にあると考えるからです。学校や教育委員会は、学校教育の根幹に関わる保護者の間違った意識の変化があるとすれば、それを正す方策を講じることが必要であると考えます。</p>			

施策2 幼児教育の推進

プランCD	総振CD	事務事業名	所管課
0202-01	2212-02	教育センター運営事業	学校教育部学校教育課
<p>教職員にとって有意義な研修会が実施されたことは素晴らしいと思います。</p> <p>教育センターでは上記の「いじめ・不登校対策事業」とも考えられる「適応指導教室」の運営や「教育相談」等も行われ多くの実績を残していると認識しております。大変素晴らしいことです。関係者の努力に敬意を表します。</p> <p>一方、これらの事業を円滑に進め、いじめ・不登校対策に結びつけるためには、教育センターと学校の連携が不可欠です。特に管理職がその認識を持ち、実際に行動することが重要であると考えます。</p>			

基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

施策3 健康の保持増進

プランCD	総振CD	事務事業名	所管課
0303-01	2213-02	小学校健康推進事業	学校教育部学校教育課
0303-02	2213-03	中学校健康推進事業	
<p>児童生徒のう歯治療率86.6%、91.9%は、保護者、学校、教育委員会の努力の成果と評価します。</p> <p>しかし、治療勧告を受けても治療を行わない児童生徒がまだいる実態があります。この問題は本人というより家庭環境等に課題がある場合がほとんどであると考えます。う歯治療率、う歯保有率を生徒指導にも是非活用してください。</p>			

基本目標 4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

施策 1 安全で安心な教育環境の整備

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0401-07	2214-04	小学校施設整備事業	生涯学習部教育総務課
0401-08	2214-05	中学校施設整備事業	
<p>家庭のトイレがほとんど洋式化し、さらに温水洗浄便座になっている中、学校のトイレだけ取り残されている気がします。トイレ改修、トイレ洋式化、温水洗浄便座の導入を強く要望します。</p> <p>また、LGBT等への対応も含めて、男子用のトイレの個室化も要望します。</p>			

基本目標 7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくり ます

施策 1 スポーツ参画人口の拡大

プラン CD	総振 CD	事務事業名	所管課
0701-15	2411-15	総合型地域スポーツクラブ育成事業	生涯学習部スポーツ振興課
<p>中学校部活動の地域移行について、国では、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（令和4年12月）」によると、「地域の実情に応じ、関係者の理解の下、できるところから取組を進めることが望ましい。」とし、令和5～7年度を「改革推進期間」と位置づけています。</p> <p>これらを受けて埼玉県では、「埼玉県地域クラブ活動の整備・充実に係る指針の策定に向けた基本的な考え方（方針）について（令和5年7月）」によると、「地域クラブ活動を段階的に整備・充実することにより、中学校部活動や習い事に加えて、生徒が多様なスポーツ・文化芸術活動を自ら選択できる環境を提供する。まずは、休日は地域クラブ活動を基本とし、平日は学習指導要領の趣旨を踏まえ、中学校部活動を継続する。」とし、令和5～7年度を「活動環境整備期間」と位置づけています。</p> <p>次に、「各市町村が、休日の地域クラブ活動の実証事業を行い、活動環境の整備を進める。」とし、令和8～10年度を「活動環境定着期間」と位置づけています。</p> <p>さらに、「各市町村が、地域の実態に応じて、休日の地域クラブ活動を段階的に拡大し、定着を図る。」としています。</p> <p>加須市教育委員会では、中学校部活動の地域移行について、学校教育課が所管して事業を進めていると聞いていますが、学校教育課のみが、あるいは教育委員会のみが所管して進められる事業ではないと考えています。市全体の取り組むべき事業として進めていくことが重要だと考えます。</p> <p>「総合型地域スポーツクラブ育成事業」が、中学校部活動の地域移行の一翼を担う役割として、進行していくことを期待します。</p> <p>この事業の「分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等」欄にも記載されていますが、平成国際大学との連携・協力についても前向きに進めることを期待します。</p>			

7 おわりに

加須市教育委員会では、令和3年度から「第2次加須市人づくりプラン」に基づいて、本市教育の振興に取り組んでいます。

「第2次加須市人づくりプラン」では、「家族・地域の絆を大切に、生きる力を醸成する」を基本理念に、令和7年度までの5年間に取り組む7つの基本目標と26の施策を設定しています。

令和4年度は、このプランに位置付けられた156の事業の中から、教育委員会の権限に属する90事業及び教育委員会運営事業など体系外の3事業を加えた93事業を対象に、事務事業の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成いたしました。

その結果、新型コロナウイルス感染症の影響による人数制限や規模縮小等により、指標設定時の目標を大きく下回る実績となった事業がある一方で、家庭用充電アダプターの配布やオンラインミニ講座「加須学びDX」の開催などにより1人1台端末の効果的な活用を推進するとともに、かぞ生涯学習フェスティバル、地域文化祭・地区文化祭及び市民音楽祭など芸術文化の交流活動、加須こいのぼりマラソンや様々なスポーツイベントの多くを3年ぶりに開催するなど、アフターコロナ時代を見据えた事業展開を行いました。

今回、元大桑小学校校長の新井信男氏及び平成国際大学特任教授荻原孝之氏の2名の学識経験者から貴重な御意見をいただきました。これらの御意見を生かしながら、自己評価で見つかった課題とともに改善につなげてまいります。

最後に、点検評価に当たり、貴重な御意見を頂きました学識経験者の方々に、心から御礼申し上げます。

令和5年9月
加須市教育委員会